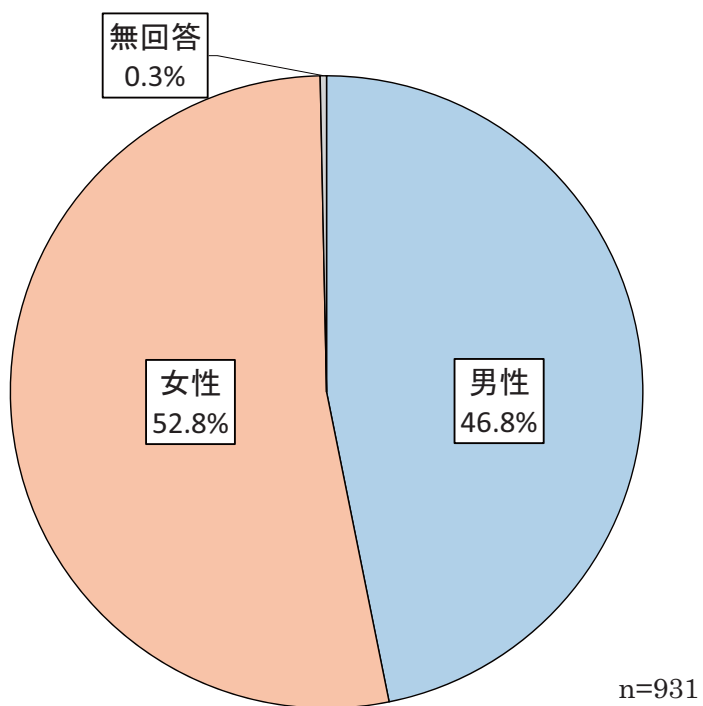


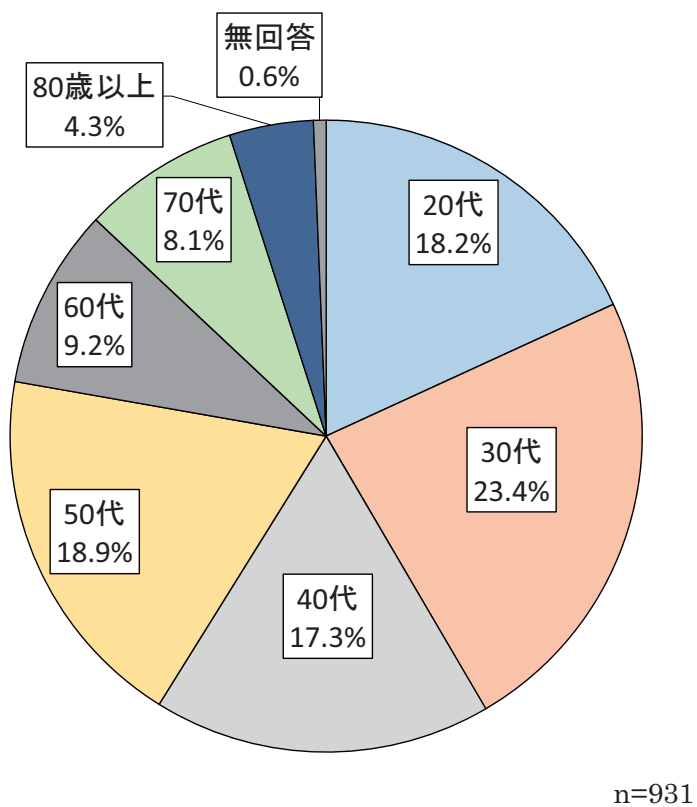
第2部 調査結果(20 歳以上)

1 回答者の属性

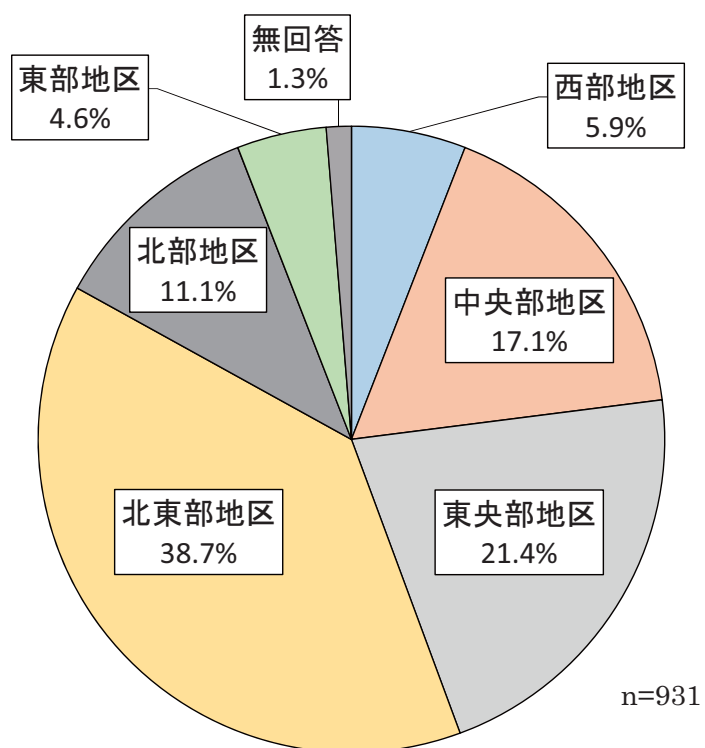
(1) 性別



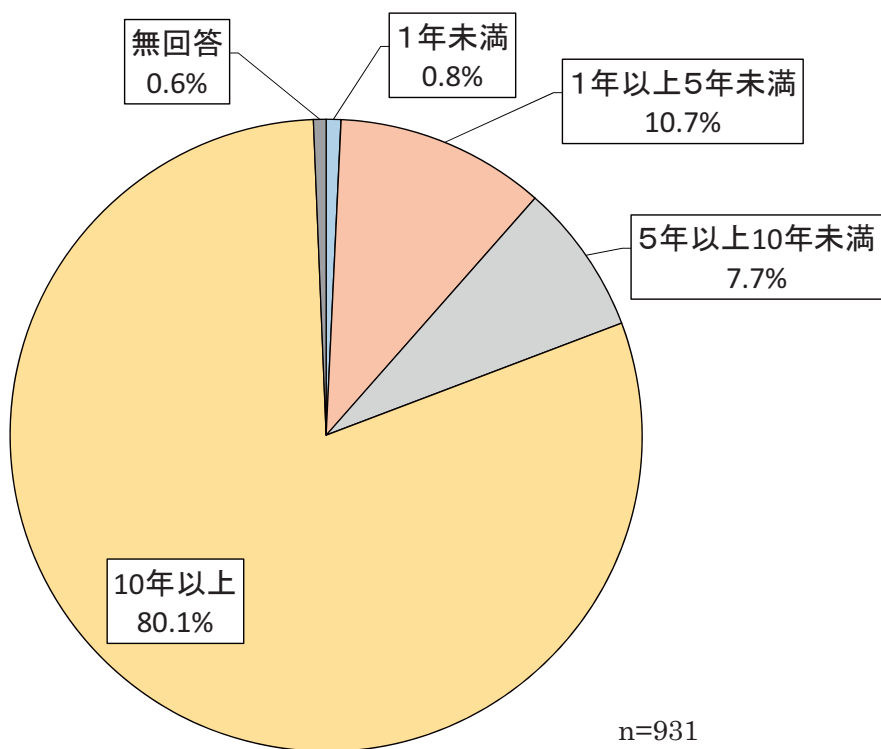
(2) 年代



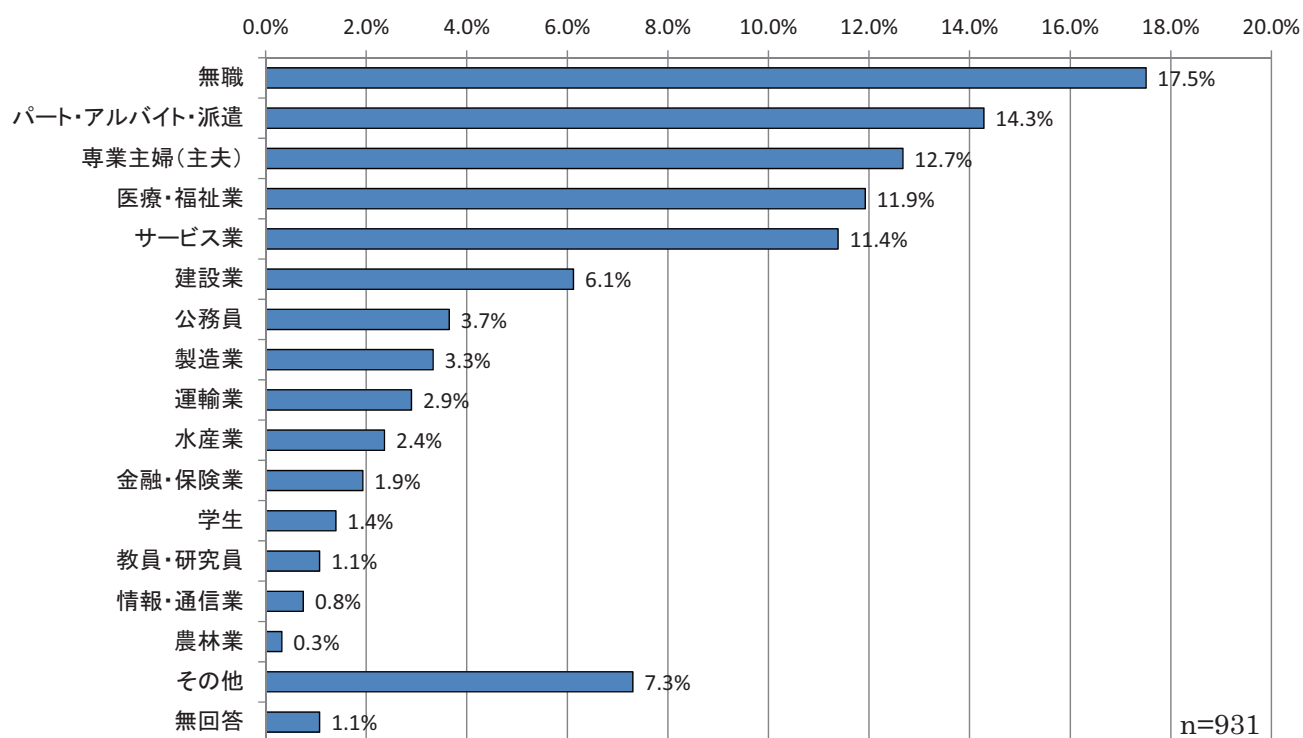
(3) 居住地



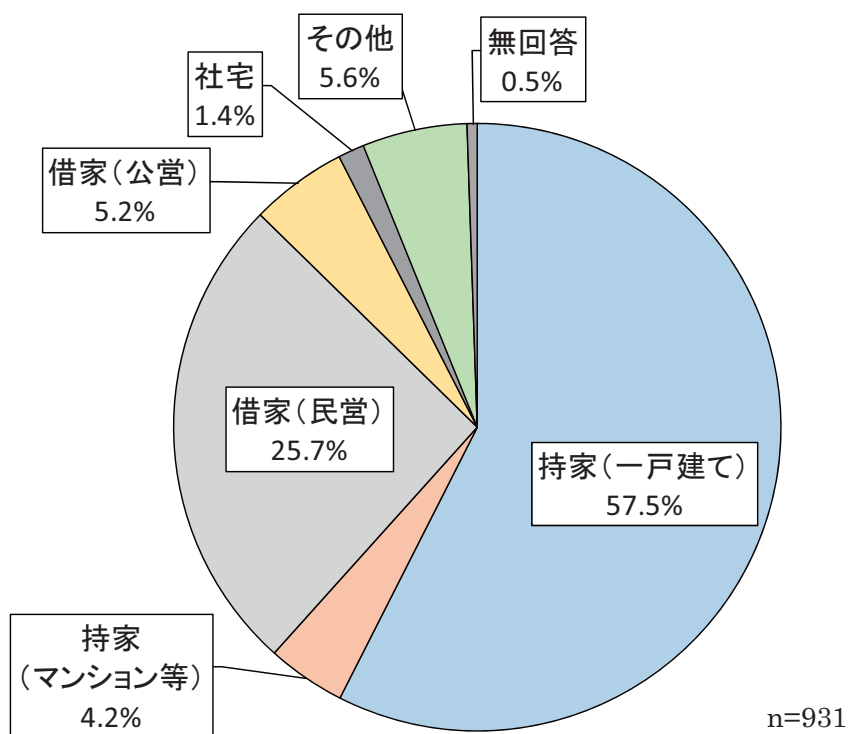
(4) 居住年数



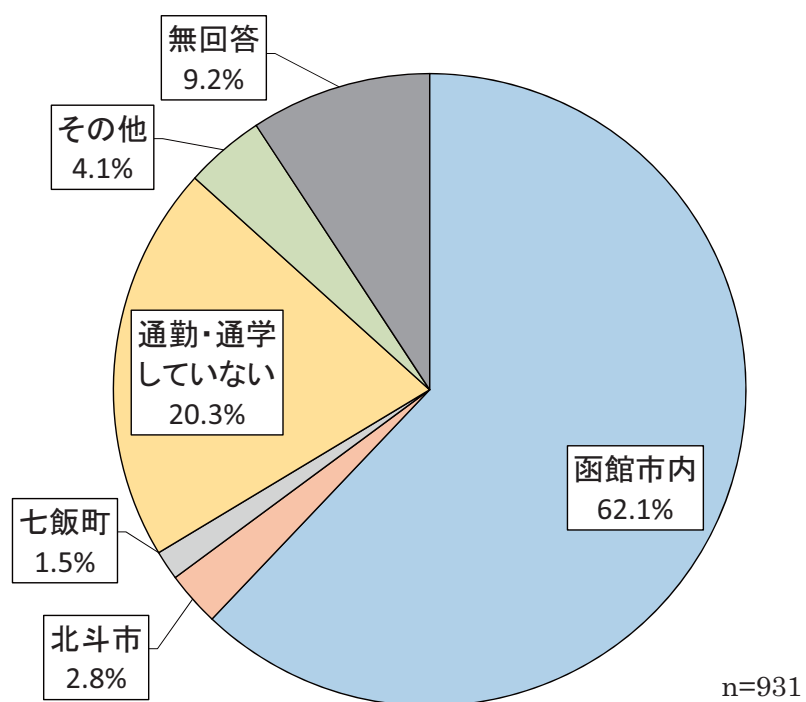
(5) 職業



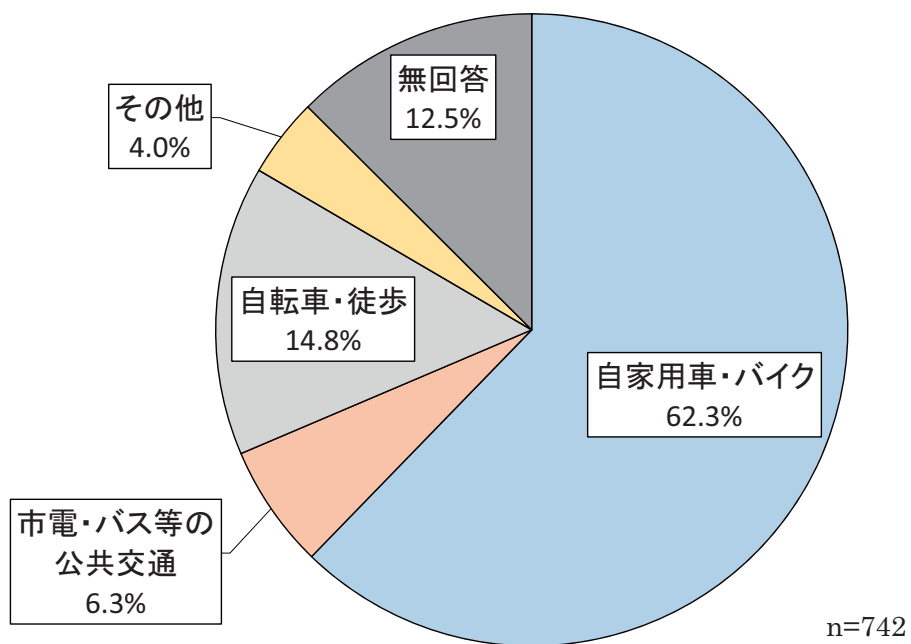
(6) 住宅形態



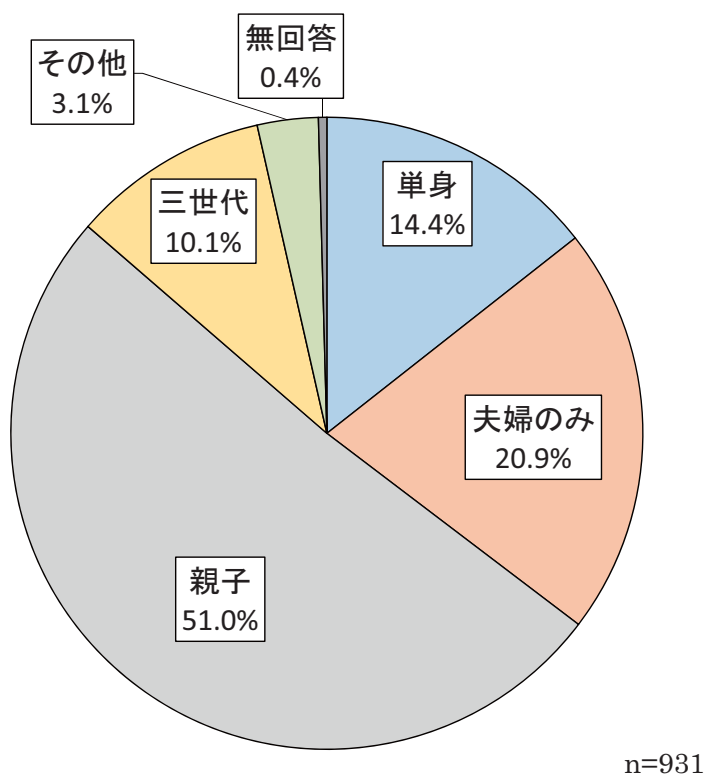
(7) 通勤・通学地



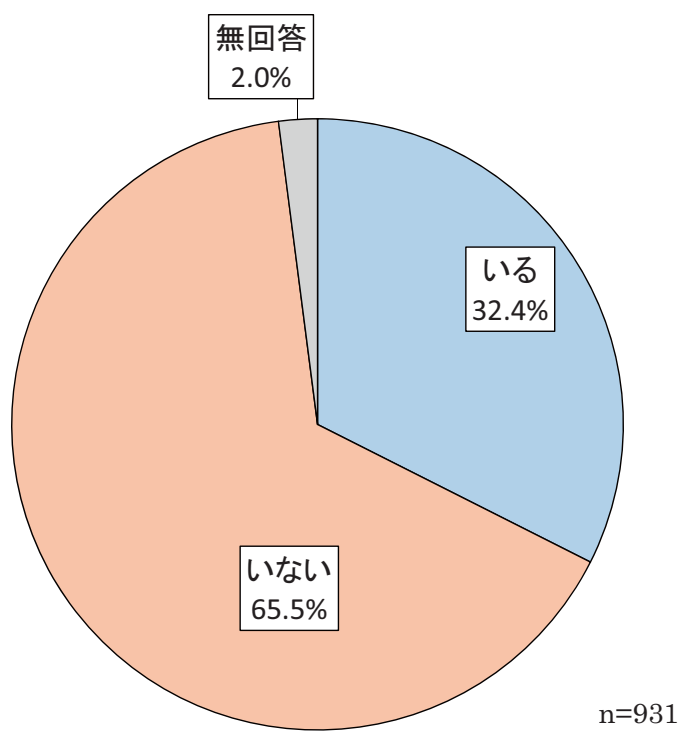
(8) 通勤・通学手段



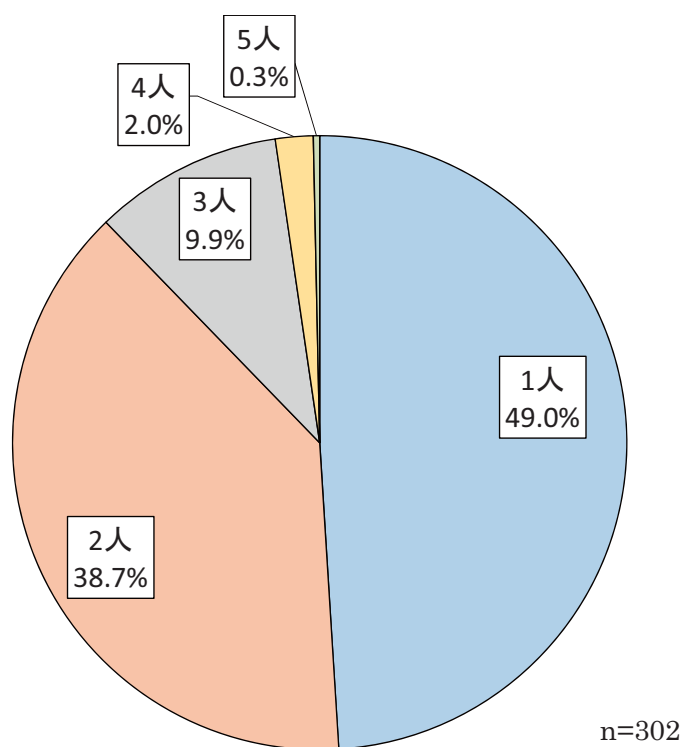
(9) 家族構成



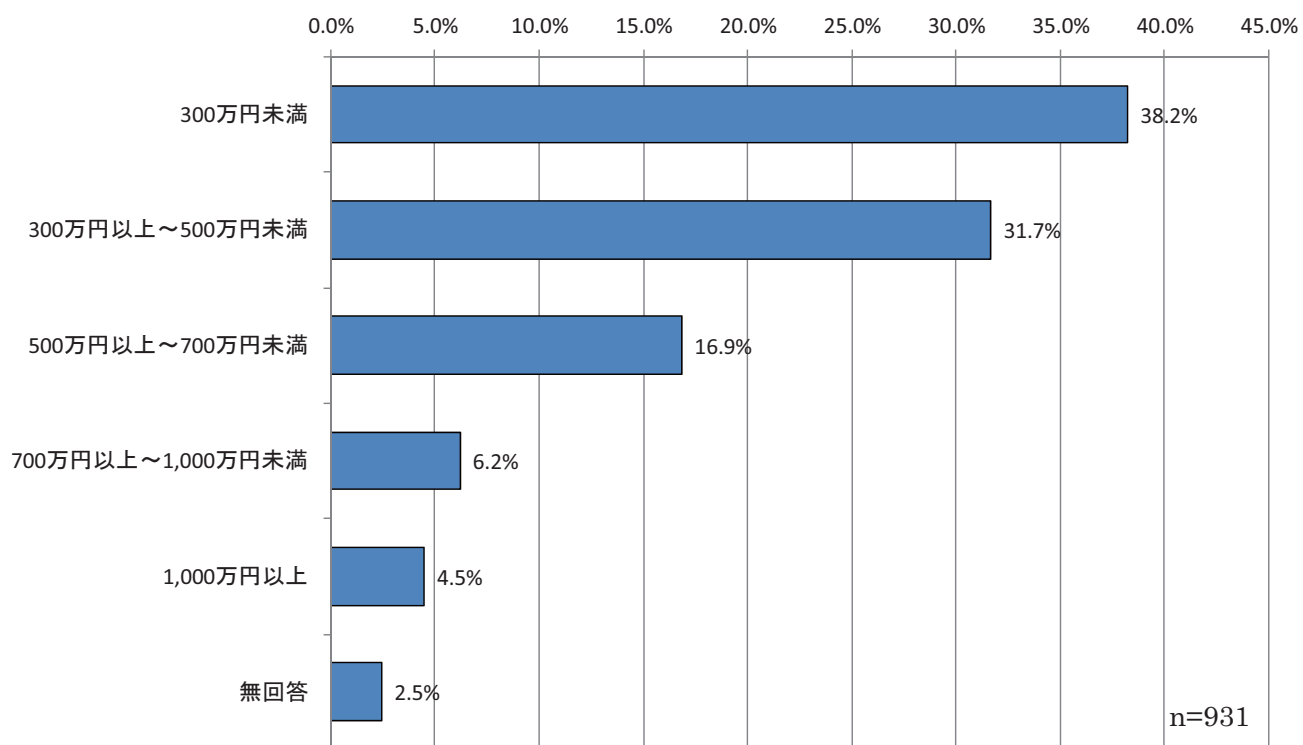
(10) 養育中の子どもの有無



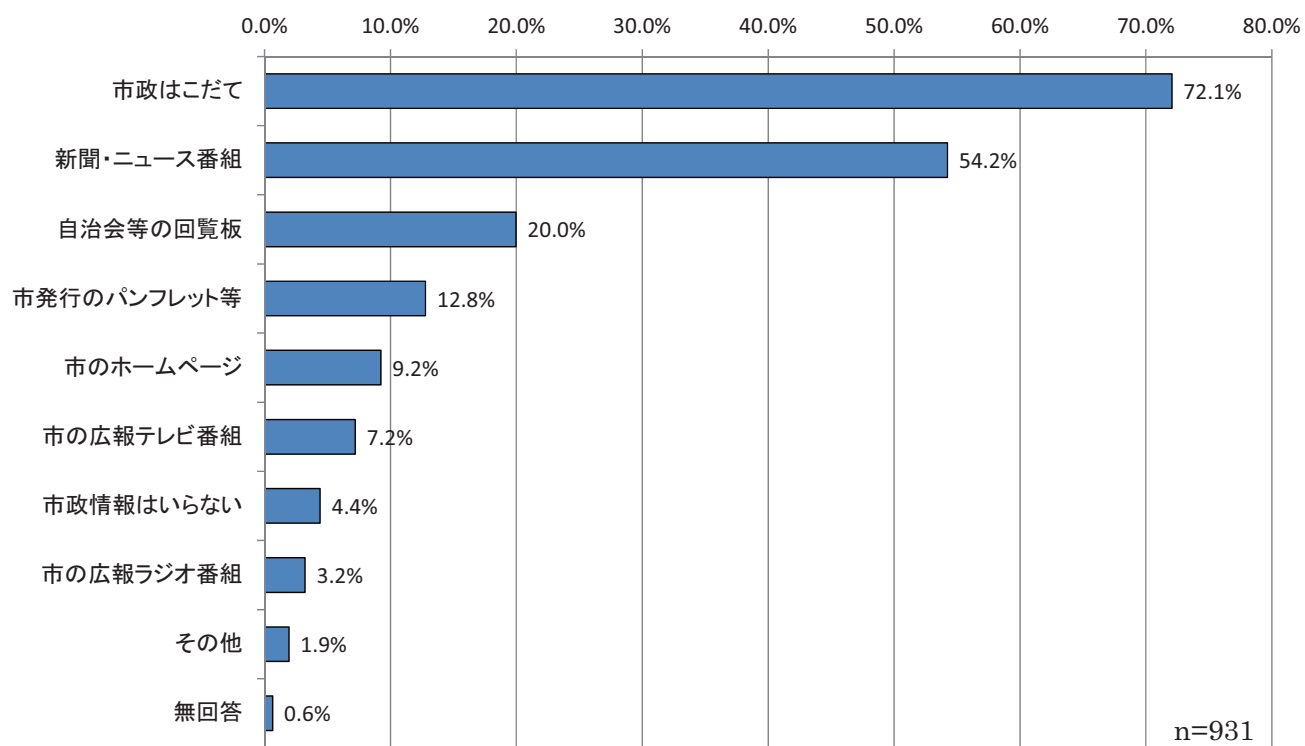
(11) 養育中の子どもの数



(12) 世帯年収



(13) 市政情報入手方法（複数回答）

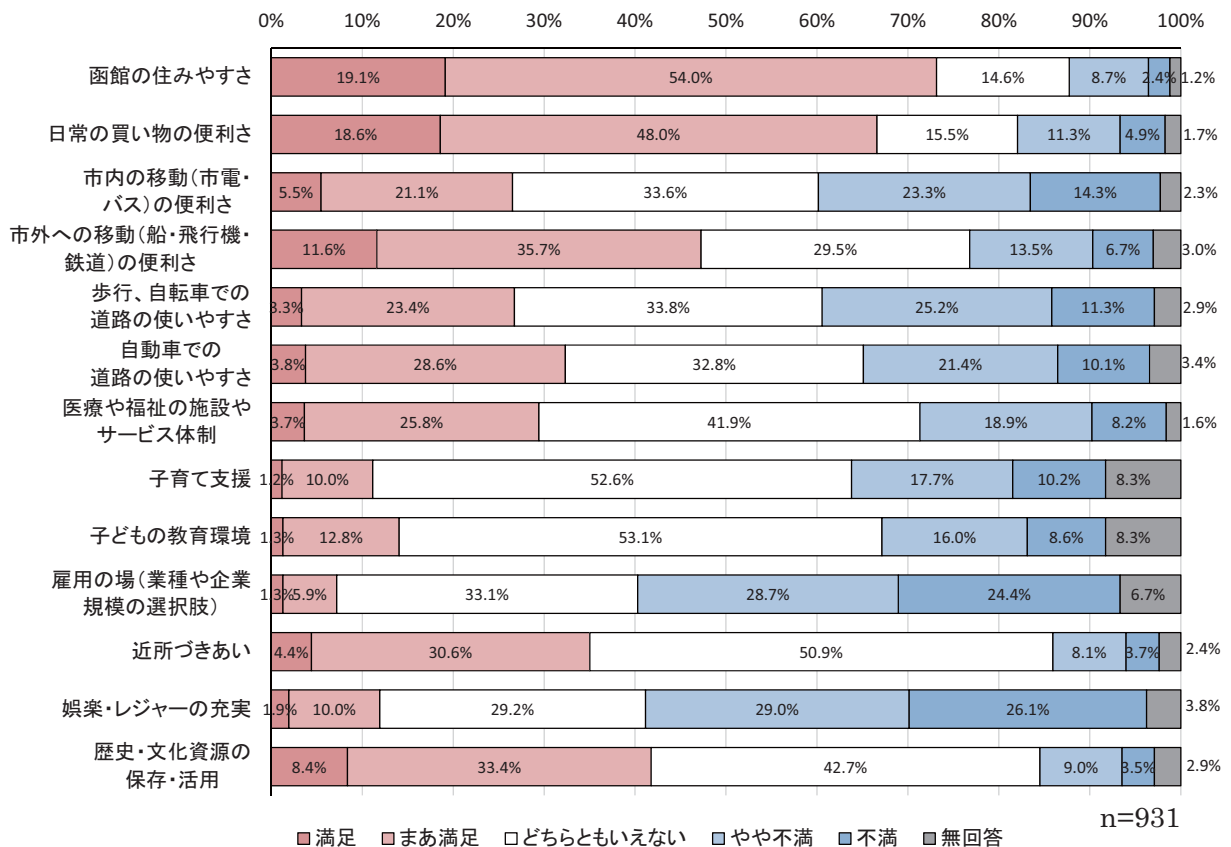


2 「函館のまち」に関する満足度調査結果

(1) 函館のまちに対する満足度

問 2

函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
それぞれの項目ごとに1つ選んでください。



「函館の住みやすさ」、「日常の買い物の便利さ」については、65%以上の人が満足と感じている一方、「娯楽・レジャーの充実」、「雇用の場（業種や企業規模の選択肢）」については、50%以上の人不満を感じています。

また、各項目の満足度スコア（「満足」と「やや満足」と回答した人の割合から「不満」と「やや不満」と回答した人の割合を引いたもの）を算定し、分析を行いました。

この数値がプラスの場合は「満足」、「やや満足」と答えた人の数が「不満」、「やや不満」と回答した人の数を上回っていることを示しています。

分析の結果は、次ページのとおりです。

① 項目間の満足度スコアの状況

	全体	順位	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
① 函館の住みやすさ	62.1%	1	54.4%	1	53.2%	1	68.3%	1	66.5%	1	65.1%	1	69.3%	1	80.0%	1
② 日常の買い物の便利さ	50.4%	2	31.4%	2	50.5%	2	57.1%	2	61.9%	2	58.1%	2	53.3%	2	37.5%	3
③ 市内の移動（市電・バス）の便利さ	-11.1%	10	-17.8%	10	-17.9%	10	-17.4%	10	-12.5%	8	-4.7%	9	20.0%	8	10.0%	8
④ 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	27.1%	4	9.5%	5	11.9%	5	29.2%	5	47.2%	3	37.2%	3	44.0%	3	35.0%	5
⑤ 歩行、自転車での道路の使いやすさ	-9.8%	8	-4.1%	7	-10.1%	7	-13.0%	8	-12.5%	8	-33.7%	12	8.0%	10	7.5%	9
⑥ 自動車での道路の使いやすさ	0.9%	7	-10.7%	8	-0.5%	6	7.5%	6	0.6%	7	-15.1%	10	29.3%	7	12.5%	7
⑦ 医療や福祉の施設やサービス体制	2.4%	6	3.0%	6	-16.5%	9	-0.6%	7	1.1%	6	7.0%	6	36.0%	6	50.0%	2
⑧ 子育て支援	-16.8%	11	-20.1%	11	-28.4%	11	-18.6%	11	-15.9%	11	-1.2%	7	-1.3%	12	-2.5%	12
⑨ 子どもの教育環境	-10.5%	9	-11.2%	9	-16.1%	8	-13.7%	9	-13.1%	10	-2.3%	8	0.0%	11	7.5%	9
⑩ 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	-45.9%	13	-45.0%	12	-44.5%	12	-43.5%	12	-60.2%	13	-45.3%	13	-36.0%	13	-22.5%	13
⑪ 近所づきあい	23.3%	5	15.4%	4	15.1%	4	29.8%	4	25.6%	4	26.7%	5	40.0%	4	27.5%	6
⑫ 娯楽・レジャーの充実	-43.2%	12	-65.1%	13	-61.0%	13	-49.7%	13	-39.8%	12	-22.1%	11	13.3%	9	0.0%	11
⑬ 歴史・文化資源の保存・活用	29.2%	3	29.6%	3	26.6%	3	32.3%	3	23.9%	5	30.2%	4	37.3%	5	37.5%	3

項目間の満足度スコアの状況について、全体では「函館の住みやすさ」が 62.1%と最も高く、「日常の買い物の便利さ」が 50.4%、「歴史・文化資源の保存・活用」が 29.2%で続いています。

一方、「雇用の場（業種や企業規模の選択肢）」が-45.9%と最も低く、「娯楽・レジャーの充実」が-43.2%、「子育て支援」が-16.8%で続いています。

年代別では、概ね、全体の状況と同じ傾向にありますが、「歩行・自転車での道路の使いやすさ」および「自動車での道路の使いやすさ」について、60代の満足度スコアが全体に比べ低くなっており、全体と異なる傾向が見られます。

② 年代別満足度スコアの順位

	全体	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
① 函館の住みやすさ	62.1%	54.4%	6	53.2%	7	68.3%	3	66.5%	4	65.1%	5	69.3%	2	80.0%	1
② 日常の買い物の便利さ	50.4%	31.4%	7	50.5%	5	57.1%	3	61.9%	1	58.1%	2	53.3%	4	37.5%	6
③ 市内の移動（市電・バス）の便利さ	-11.1%	-17.8%	6	-17.9%	7	-17.4%	5	-12.5%	4	-4.7%	3	20.0%	1	10.0%	2
④ 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	27.1%	9.5%	7	11.9%	6	29.2%	5	47.2%	1	37.2%	3	44.0%	2	35.0%	4
⑤ 歩行、自転車での道路の使いやすさ	-9.8%	-4.1%	3	-10.1%	4	-13.0%	6	-12.5%	5	-33.7%	7	8.0%	1	7.5%	2
⑥ 自動車での道路の使いやすさ	0.9%	-10.7%	6	-0.5%	5	7.5%	3	0.6%	4	-15.1%	7	29.3%	1	12.5%	2
⑦ 医療や福祉の施設やサービス体制	2.4%	3.0%	4	-16.5%	7	-0.6%	6	1.1%	5	7.0%	3	36.0%	2	50.0%	1
⑧ 子育て支援	-16.8%	-20.1%	6	-28.4%	7	-18.6%	5	-15.9%	4	-1.2%	1	-1.3%	2	-2.5%	3
⑨ 子どもの教育環境	-10.5%	-11.2%	4	-16.1%	7	-13.7%	6	-13.1%	5	-2.3%	3	0.0%	2	7.5%	1
⑩ 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	-45.9%	-45.0%	5	-44.5%	4	-43.5%	3	-60.2%	7	-45.3%	6	-36.0%	2	-22.5%	1
⑪ 近所づきあい	23.3%	15.4%	6	15.1%	7	29.8%	2	25.6%	5	26.7%	4	40.0%	1	27.5%	3
⑫ 娯楽・レジャーの充実	-43.2%	-65.1%	7	-61.0%	6	-49.7%	5	-39.8%	4	-22.1%	3	13.3%	1	0.0%	2
⑬ 歴史・文化資源の保存・活用	29.2%	29.6%	5	26.6%	6	32.3%	3	23.9%	7	30.2%	4	37.3%	2	37.5%	1

年代別満足度スコアの順位については、30代が最低スコアの数が最も多く、年代が上がるにつれて、満足度スコアも高くなる傾向が見られます。

(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと

問 3

函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

下表は、問3の回答内容を問2の選択肢別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、特に満足と思うことについて合計 603 人（回答者全体の 64.8%）、特に不満と思うことについて 722 人（回答者全体の 77.6%）からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

① 特に満足と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	185	30.7%
日常の買い物の便利さ	52	8.6%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	28	4.6%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	28	4.6%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	9	1.5%
自動車での道路の使いやすさ	17	2.8%
医療や福祉の施設やサービス体制	23	3.8%
子育て支援	4	0.7%
子どもの教育環境	6	1.0%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	3	0.5%
近所づきあい	17	2.8%
娯楽・レジャーの充実	25	4.1%
歴史・文化資源の保存・活用	48	8.0%
その他	272	45.1%
合計	717	

「その他」の意見としては「食べ物がおいしい（特に新鮮な海産物がある）（44 件）」、「景観がきれい（特に西部地区）（36 件）」、「海や山があり自然に囲まれている（34 件）」、「観光資源が豊富（33 件）」、「気候がよく大きな災害もなく過ごしやすい（20 件）」、「温泉がある（3 件）」等が挙げられています。

② 特に不満と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	29	4.0%
日常の買い物の便利さ	52	7.2%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	88	12.2%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	22	3.0%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	103	14.3%
自動車での道路の使いやすさ	108	15.0%
医療や福祉の施設やサービス体制	55	7.6%
子育て支援	35	4.8%
子どもの教育環境	21	2.9%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	114	15.8%
近所づきあい	10	1.4%
娯楽・レジャーの充実	177	24.5%
歴史・文化資源の保存・活用	7	1.0%
その他	176	24.4%
合計	997	

「その他」の意見としては「税金が高い(14件)」、「雇用環境が悪く、賃金も低い(13件)」、「活気がない(13件)」、「市や市職員の市民へのサービスに不満がある(10件)」、「公共交通機関の充実(8件)」、「観光振興が不十分(8件)」、「生活道路の整備が不十分(特に冬場の除雪)(7件)」等が挙げられています。

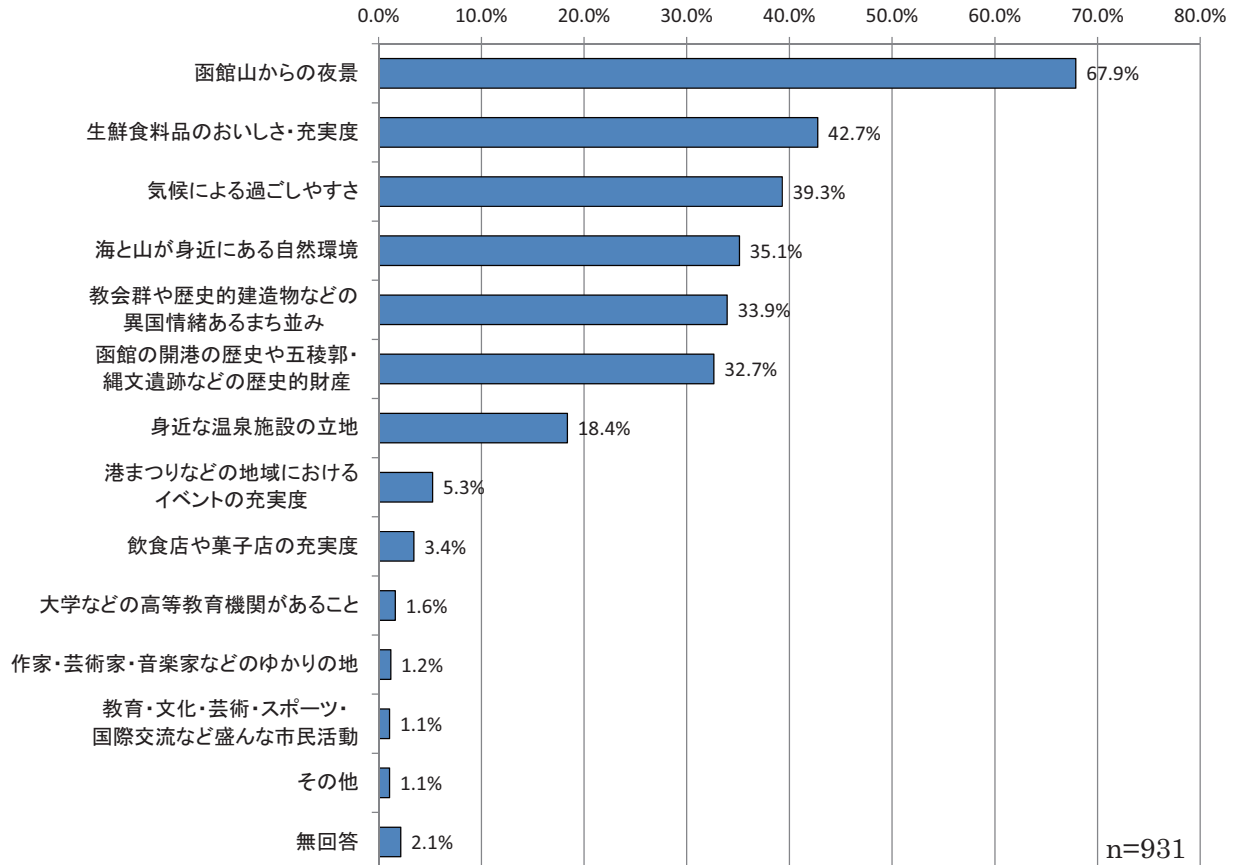
3 「函館市の魅力」に関する調査結果

(1) 函館市の魅力や誇れるもの

問 4

函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？

主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	割合	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
函館山からの夜景	632	67.9%	71.0%	70.2%	65.2%	73.3%	61.6%	60.0%	57.5%
生鮮食料品のおいしさ・充実度	398	42.7%	45.0%	48.2%	41.6%	50.0%	27.9%	33.3%	32.5%
気候による過ごしやすさ	366	39.3%	34.3%	31.7%	39.1%	47.7%	47.7%	42.7%	40.0%
海と山が身近にある自然環境	327	35.1%	32.0%	39.0%	31.7%	30.7%	43.0%	41.3%	32.5%
教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み	316	33.9%	27.8%	32.1%	38.5%	40.3%	34.9%	32.0%	27.5%
函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産	304	32.7%	31.4%	27.5%	36.0%	24.4%	43.0%	50.7%	35.0%
身近な温泉施設の立地	171	18.4%	14.2%	20.2%	19.9%	14.8%	19.8%	21.3%	27.5%
港まつりなどの地域におけるイベントの充実度	49	5.3%	9.5%	6.9%	3.1%	2.8%	2.3%	2.7%	7.5%
飲食店や菓子店の充実度	32	3.4%	8.3%	3.2%	5.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
大学などの高等教育機関があること	15	1.6%	1.2%	0.0%	1.9%	0.6%	3.5%	4.0%	7.5%
作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地	11	1.2%	3.0%	0.5%	0.6%	0.6%	1.2%	2.7%	0.0%
教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動	10	1.1%	2.4%	0.5%	1.2%	0.6%	1.2%	0.0%	2.5%
その他	10	1.1%	0.6%	1.4%	0.6%	0.6%	2.3%	2.7%	0.0%
無回答	20	2.1%	1.2%	2.3%	1.9%	1.7%	1.2%	1.3%	10.0%

「函館山からの夜景」が 67.9%と最も高く、「生鮮食料品のおいしさ・充実度」が 42.7%で続いています。

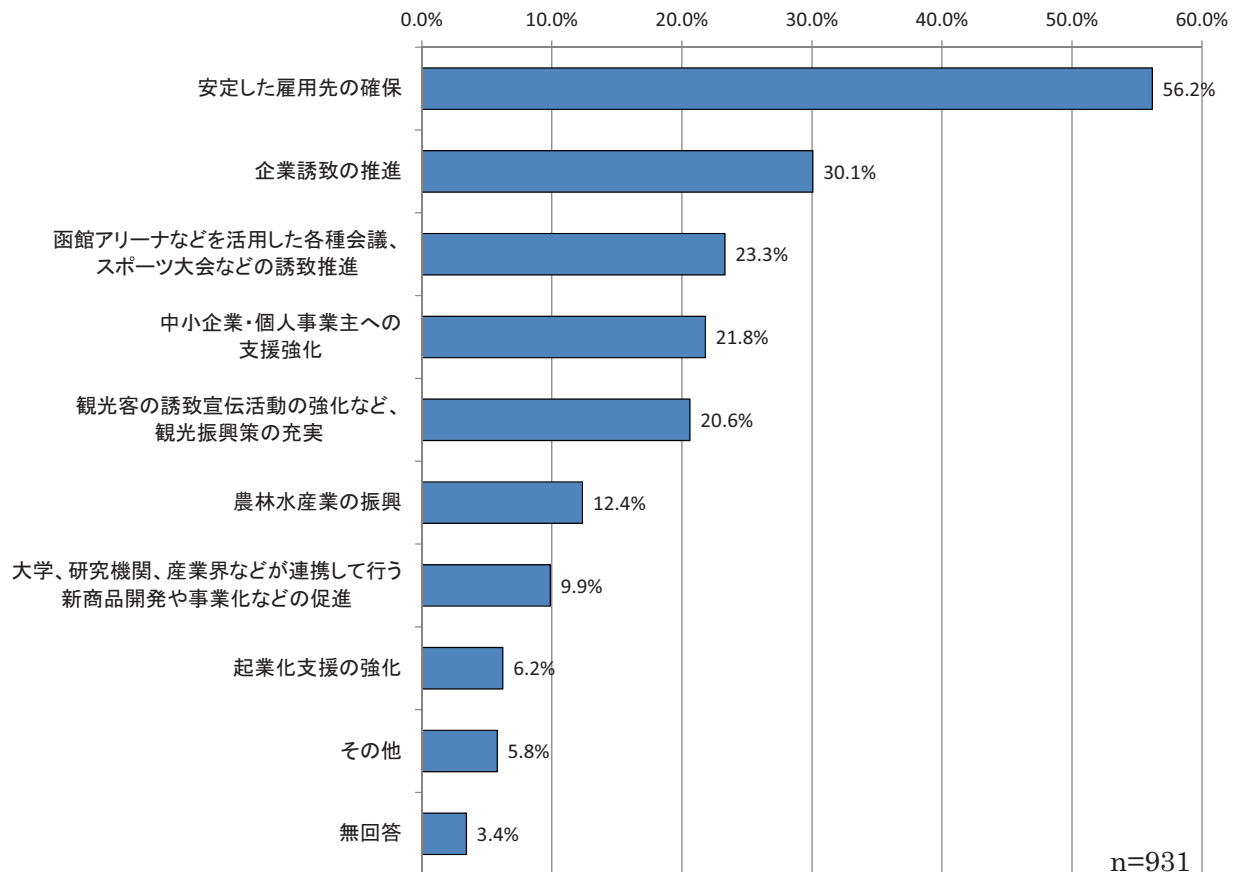
回答者の年代別では、各年代とも「函館山からの夜景」が最も高く、60代以上では「函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産」の割合が高くなっています。

4 「函館市の今後のまちづくり」に関する調査結果

(1) 函館市の経済を活性化するための施策

問 5

函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？ 主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
安定した雇用先の確保	523	56.2%	58.0%	56.4%	53.4%	61.4%	62.8%	48.0%	40.0%
企業誘致の推進	280	30.1%	26.0%	22.9%	33.5%	40.9%	22.1%	33.3%	37.5%
函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進	217	23.3%	29.6%	26.1%	29.2%	21.0%	12.8%	14.7%	10.0%
中小企業・個人事業主への支援強化	203	21.8%	23.1%	28.0%	18.6%	19.9%	18.6%	17.3%	20.0%
観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実	192	20.6%	21.9%	18.3%	21.1%	21.0%	23.3%	21.3%	20.0%
農林水産業の振興	115	12.4%	9.5%	9.6%	11.8%	8.5%	20.9%	28.0%	7.5%
大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進	92	9.9%	7.1%	5.5%	9.9%	8.0%	12.8%	21.3%	22.5%
起業化支援の強化	58	6.2%	5.9%	10.1%	2.5%	6.3%	4.7%	4.0%	10.0%
その他	54	5.8%	6.5%	6.0%	8.7%	4.5%	5.8%	1.3%	2.5%
無回答	32	3.4%	0.6%	4.1%	1.9%	2.8%	4.7%	4.0%	15.0%

「安定した雇用先の確保」が 56.2%と最も高く、「企業誘致の推進」が 30.1%で続いており、就労に関する施策へのニーズが高くなっています。

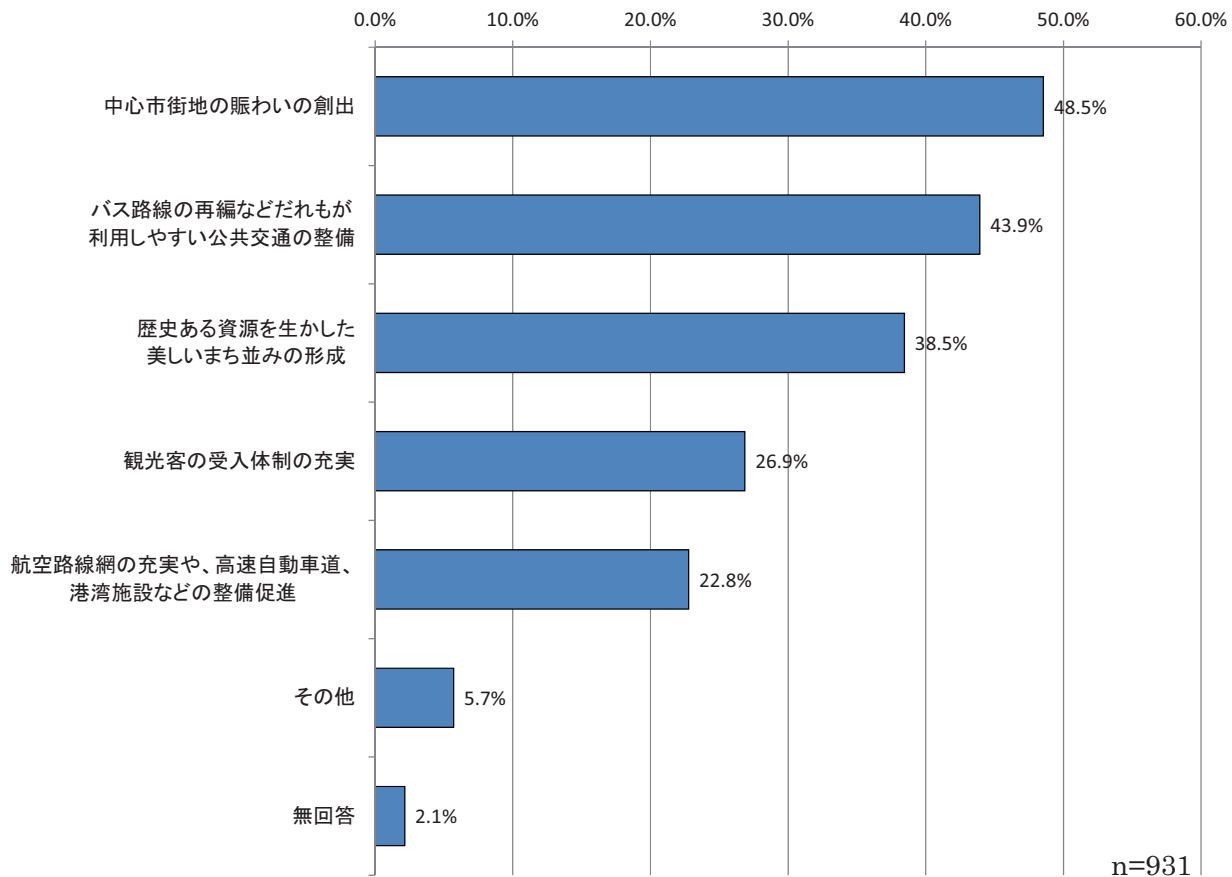
回答者の年代別では、各年代とも「安定した雇用先の確保」が最も高く、30代を除き「企業誘致の推進」が上位3項目に含まれており、全体と同様、就労に関する施策へのニーズが高くなっています。

また、50代以下では「函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進」の割合が上位3項目に入っています。

(2) まちの魅力を高めるための取り組み

問 6

まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
中心市街地の賑わいの創出	452	48.5%	61.5%	59.2%	43.5%	46.0%	30.2%	32.0%	40.0%
バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備	409	43.9%	43.2%	39.9%	47.8%	40.9%	48.8%	52.0%	42.5%
歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成	358	38.5%	27.2%	33.0%	42.2%	40.3%	46.5%	53.3%	42.5%
観光客の受入体制の充実	250	26.9%	24.3%	27.5%	26.1%	29.0%	29.1%	25.3%	27.5%
航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進	212	22.8%	27.2%	21.1%	16.8%	26.1%	24.4%	20.0%	25.0%
その他	53	5.7%	5.9%	6.0%	7.5%	4.0%	8.1%	4.0%	2.5%
無回答	20	2.1%	1.2%	1.4%	2.5%	1.7%	0.0%	5.3%	10.0%

「中心市街地の賑わいの創出」が 48.5%と最も高く、「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が 43.9%で続いています。

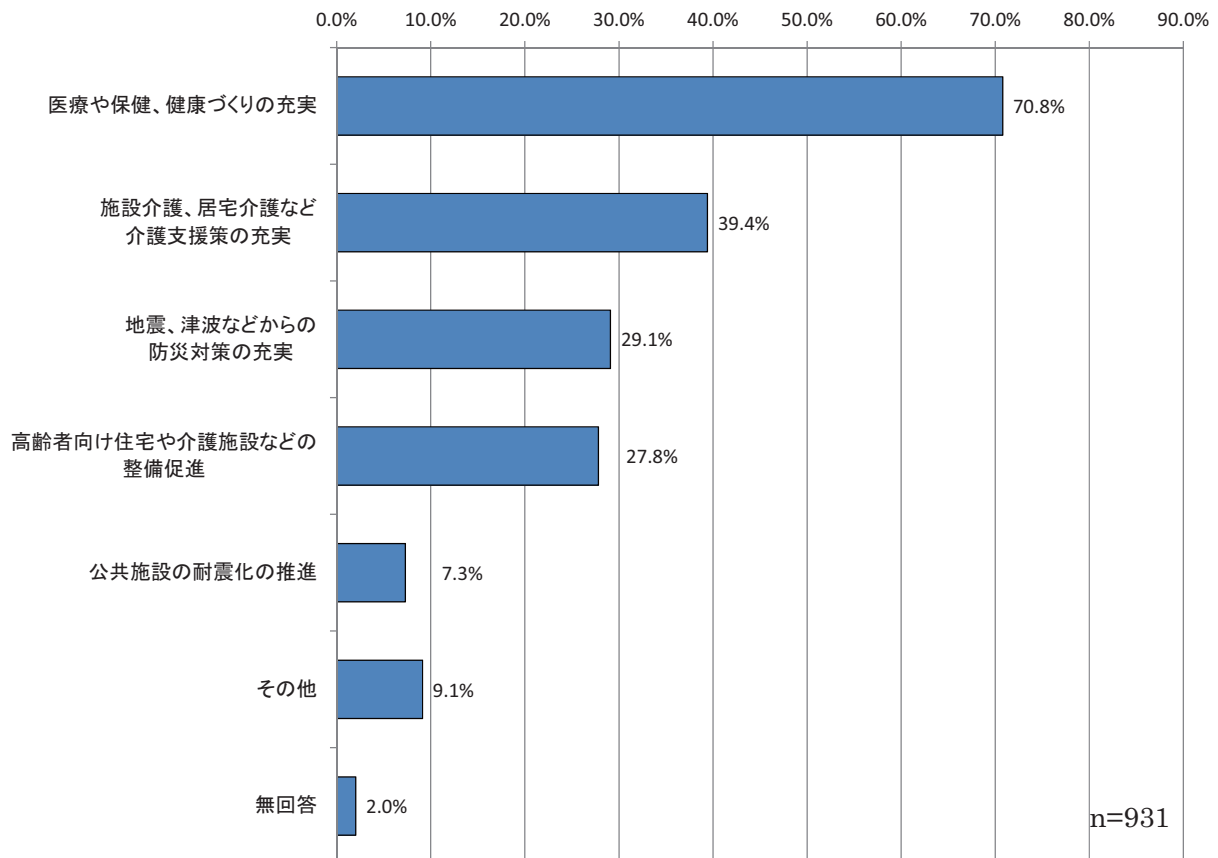
回答者の年代別では、20、30、50代では全体と同様に、「中心市街地の賑わいの創出」が最も高くなっていますが、40、60代では「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が最も高くなっています。

(3) 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと

問 7

だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？

主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
医療や保健、健康づくりの充実	659	70.8%	77.5%	77.1%	76.4%	63.1%	59.3%	68.0%	47.5%
施設介護、居宅介護など介護支援策の充実	367	39.4%	26.6%	30.7%	38.5%	48.9%	51.2%	53.3%	55.0%
地震、津波などからの防災対策の充実	271	29.1%	38.5%	37.2%	27.3%	19.3%	24.4%	20.0%	22.5%
高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進	259	27.8%	20.1%	19.3%	25.5%	35.8%	38.4%	37.3%	42.5%
公共施設の耐震化の推進	68	7.3%	13.6%	8.3%	3.1%	5.1%	5.8%	6.7%	7.5%
その他	85	9.1%	10.1%	9.2%	9.9%	9.7%	10.5%	6.7%	2.5%
無回答	19	2.0%	0.6%	1.4%	1.9%	2.3%	1.2%	2.7%	10.0%

「医療や保健、健康づくりの充実」が 70.8%と最も高く、「施設介護、居宅介護など介護支援策の充実」が 39.4%で続いています。

回答者の年代別では、80 歳以上以外では全体と同様に「医療や保健、健康づくりの充実」が最も高く、80 歳以上では「施設介護、居宅介護など介護支援策の充実」が最も高くなっています。

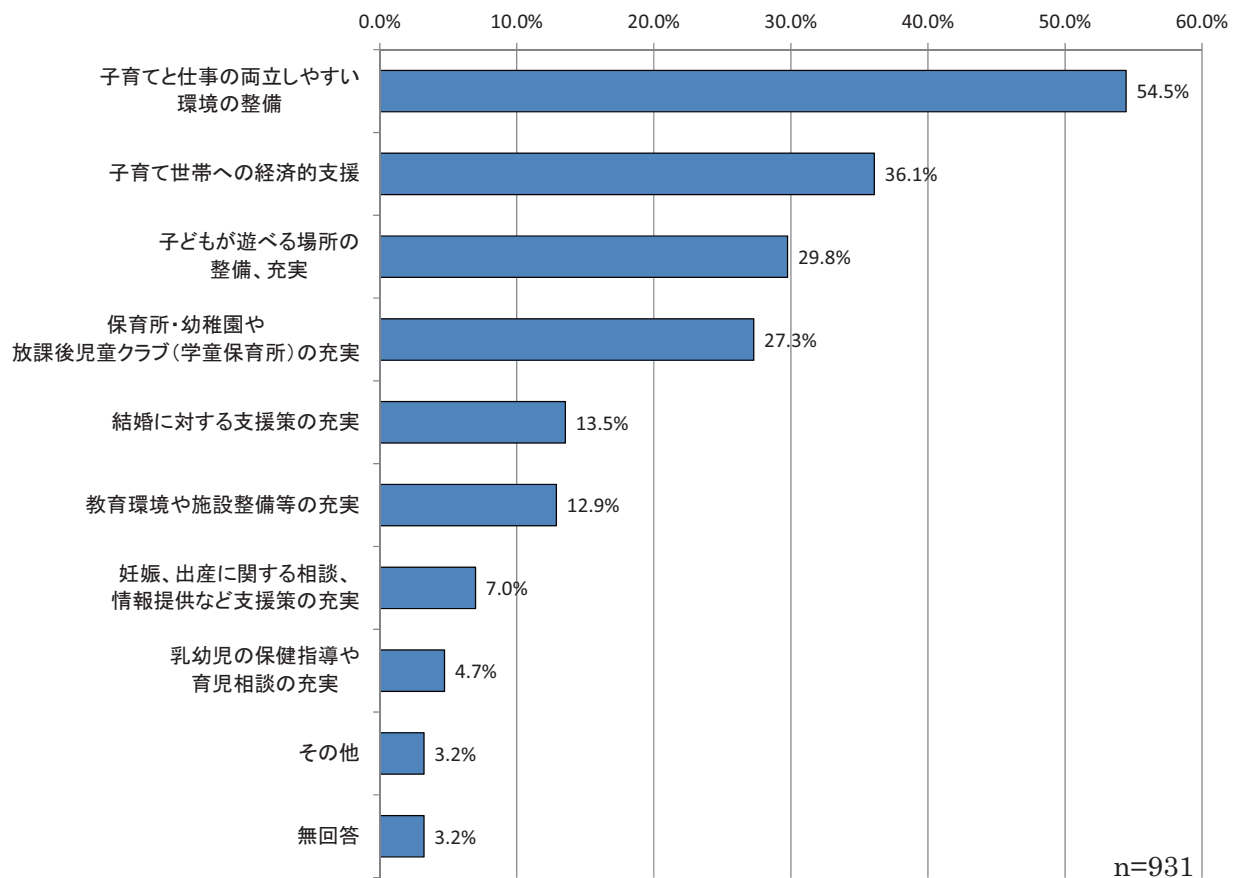
また、20～40 代では「地震、津波などからの防災対策の充実」が上位 3 項目に入っている一方で、50 代以上では「高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進」が上位 3 項目に入っています。

「その他」の意見としては「雇用環境の向上（特に賃金）（13 件）」、「防犯対策（10 件）」、「子育て世代への支援（8 件）」、「高齢者の生活支援（5 件）」、「大間原発の廃止（5 件）」、「老後の生活保障（3 件）」等が挙げられています。

(4) 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、取り組むべきこと

問 8

安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
子育てと仕事の両立しやすい環境の整備	507	54.5%	52.1%	54.6%	49.1%	58.5%	62.8%	58.7%	45.0%
子育て世帯への経済的支援	336	36.1%	43.8%	48.6%	43.5%	24.4%	17.4%	21.3%	27.5%
子どもが遊べる場所の整備、充実	277	29.8%	24.9%	42.2%	28.6%	27.8%	26.7%	20.0%	17.5%
保育所・幼稚園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実	254	27.3%	25.4%	17.9%	27.3%	35.8%	31.4%	38.7%	17.5%
結婚に対する支援策の充実	126	13.5%	20.7%	10.1%	10.6%	13.1%	11.6%	16.0%	17.5%
教育環境や施設整備等の充実	120	12.9%	7.1%	8.7%	16.1%	16.5%	17.4%	16.0%	17.5%
妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実	65	7.0%	12.4%	4.6%	3.1%	8.0%	7.0%	5.3%	12.5%
乳幼児の保健指導や育児相談の充実	44	4.7%	4.1%	2.8%	3.7%	5.1%	5.8%	5.3%	12.5%
その他	30	3.2%	1.8%	2.3%	6.2%	2.8%	4.7%	2.7%	2.5%
無回答	30	3.2%	1.8%	2.3%	3.1%	1.1%	3.5%	8.0%	12.5%

「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が 54.5%と最も高く、「子育て世帯への経済的支援」が 36.1%で続いています。

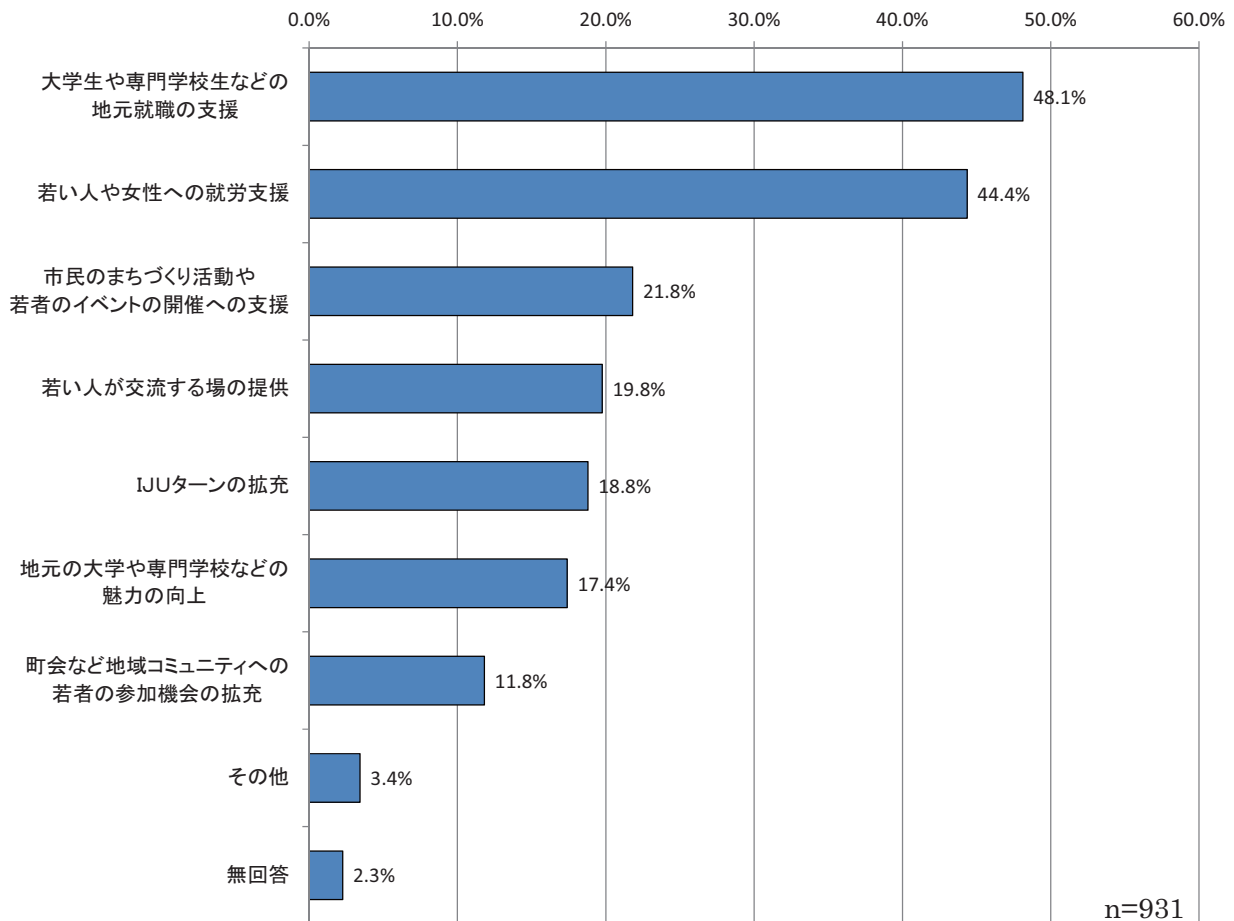
回答者の年代別でも、各年代とも全体と同様に「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が最も高くなっています。

また、40代以下および80歳以上では「子育て世帯への経済的支援」が2番目に高くなっている一方で、50～70代では「保育所・幼稚園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実」が2番目に高くなっています。

(5) 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、取り組むべきこと

問 9

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
大学生や専門学校生などの地元就職の支援	448	48.1%	44.4%	45.4%	49.7%	49.4%	47.7%	58.7%	50.0%
若い人や女性への就労支援	413	44.4%	47.9%	46.8%	45.3%	44.3%	43.0%	33.3%	37.5%
市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援	203	21.8%	28.4%	25.2%	19.9%	19.3%	12.8%	16.0%	20.0%
若い人が交流する場の提供	184	19.8%	28.4%	22.0%	18.0%	15.9%	16.3%	17.3%	10.0%
IJUターンの拡充	175	18.8%	9.5%	12.8%	19.9%	30.1%	29.1%	18.7%	15.0%
地元の大学や専門学校などの魅力の向上	162	17.4%	14.8%	17.0%	16.1%	20.5%	16.3%	20.0%	22.5%
町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充	110	11.8%	10.1%	14.2%	7.5%	6.8%	12.8%	24.0%	20.0%
その他	32	3.4%	4.1%	3.2%	5.0%	2.8%	4.7%	1.3%	0.0%
無回答	21	2.3%	0.6%	0.9%	2.5%	1.1%	3.5%	4.0%	12.5%

「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が48.1%と最も高く、「若い人や女性への就労支援」が44.4%で続いています。上位2項目は3番目に高い「市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援」21.8%の2倍以上であり、若い世代、女性の就労支援への取り組みを求める割合が高くなっています。

また、回答者の年代別でも、各年代とも全体と同様に、「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」、「若い人や女性への就労支援」の割合が高くなっています。

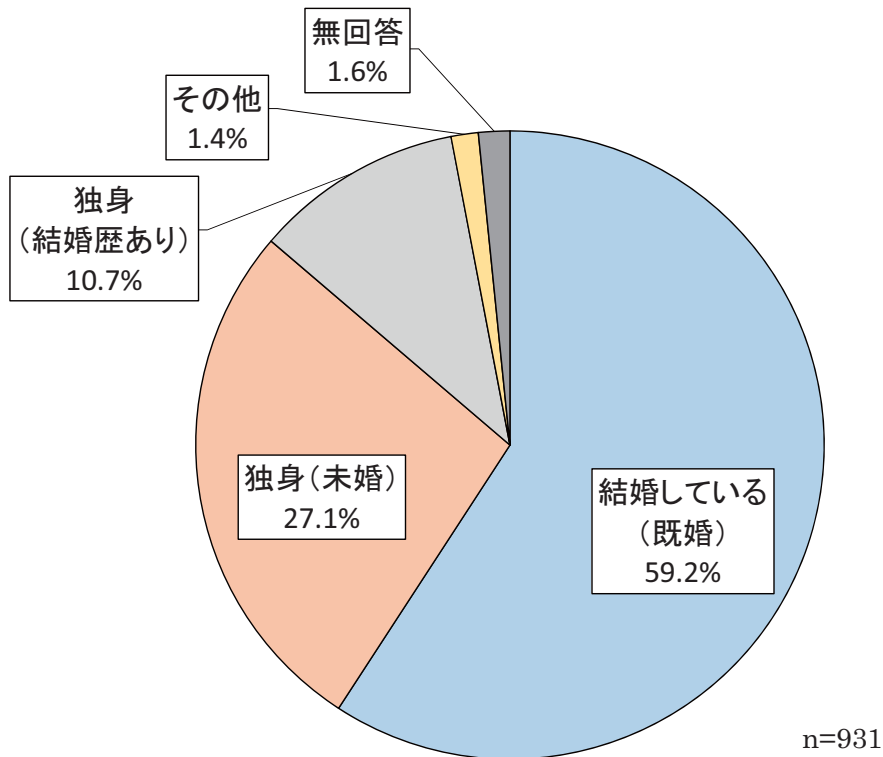
5 「結婚・出産・子育て」に対する考え方

(1) 現在結婚しているか

問 10

あなたは、現在結婚していますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
結婚している (既婚)	551	59.2%	24.9%	62.4%	60.9%	72.7%	76.7%	78.7%	47.5%
独身 (未婚)	252	27.1%	71.0%	28.4%	23.6%	10.2%	7.0%	4.0%	7.5%
独身 (結婚歴あり)	100	10.7%	3.6%	8.7%	14.3%	14.8%	11.6%	8.0%	25.0%
その他	13	1.4%	0.6%	0.5%	0.0%	1.7%	1.2%	4.0%	10.0%
無回答	15	1.6%	0.0%	0.0%	1.2%	0.6%	3.5%	5.3%	10.0%

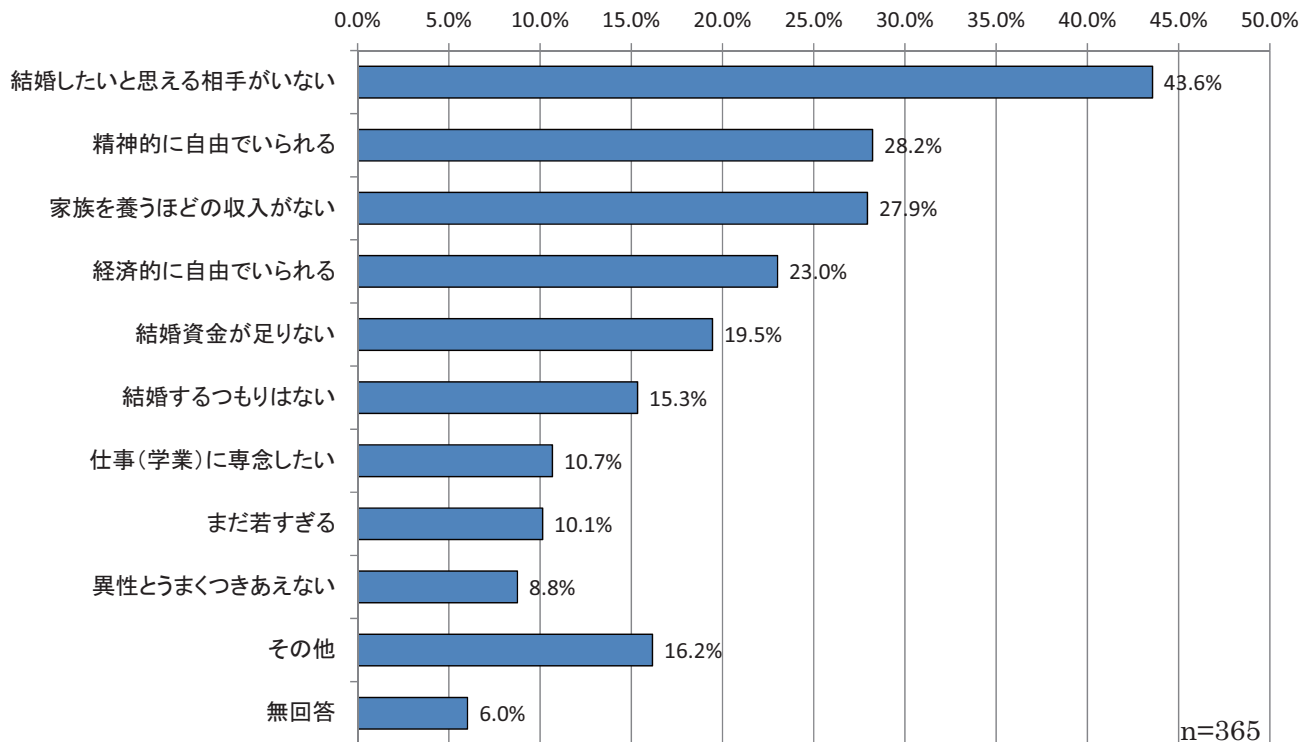
「結婚している (既婚)」が 59.2%と最も高く、「独身 (未婚)」が 27.1%で続いています。

また、回答者の年代別では、結婚している割合は 30～40 代では 60%を、50～70 代では 70%を超えている一方で、20 代は 24.9%となっています。30～40 代では「独身 (未婚)」が 2 番目に高く、50 代以上では「独身 (結婚歴あり)」が 2 番目に高くなっています。

(2) 結婚をしていない理由

問 11

結婚をしていない理由は何ですか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。(回答対象者：問10で「独身（未婚）」、「独身（結婚歴あり）」、「その他」を選択した人)



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
結婚したいと思える相手がいない	159	43.6%	43.3%	52.4%	62.3%	42.6%	0.0%	8.3%	5.9%
精神的に自由でいられる	103	28.2%	13.4%	35.4%	37.7%	46.8%	29.4%	41.7%	11.8%
家族を養うほどの収入がない	102	27.9%	32.3%	34.1%	26.2%	25.5%	17.6%	0.0%	5.9%
経済的に自由でいられる	84	23.0%	21.3%	25.6%	26.2%	25.5%	17.6%	33.3%	5.9%
結婚資金が足りない	71	19.5%	29.9%	23.2%	8.2%	17.0%	0.0%	0.0%	0.0%
結婚するつもりはない	56	15.3%	6.3%	7.3%	24.6%	29.8%	35.3%	33.3%	17.6%
仕事(学業)に専念したい	39	10.7%	17.3%	9.8%	13.1%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
まだ若すぎる	37	10.1%	29.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
異性とうまくつきあえない	32	8.8%	15.0%	6.1%	8.2%	2.1%	5.9%	0.0%	5.9%
その他	59	16.2%	9.4%	17.1%	23.0%	12.8%	35.3%	8.3%	29.4%
無回答	22	6.0%	2.4%	2.4%	0.0%	8.5%	17.6%	41.7%	29.4%

「結婚したいと思える相手がいない」が43.6%と最も高く、「精神的に自由でいられる」が28.2%で続いています。

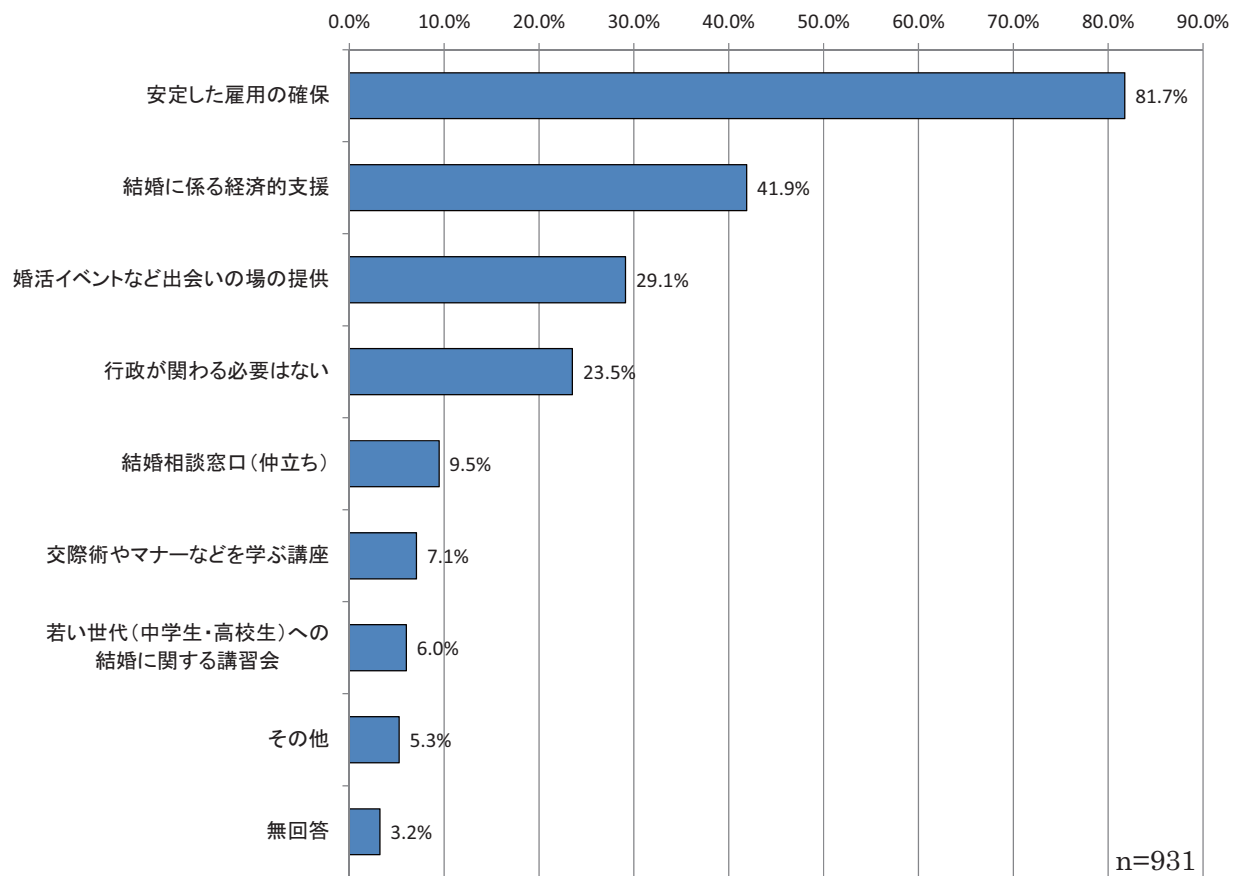
また、回答者の年代別では、40代以下で全体と同様、「結婚したいと思える相手がいない」が最も高く、50～70代では「精神的に自由でいられる」の割合が高くなっています。

「その他」の意見としては「出会いがない(11件)」、「子どもを優先させたい(6件)」、「結婚に価値があると思わない(6件)」、「離婚(5件)」、「結婚する予定、意思がある(5件)」等が挙げられています。

(3) 行政が結婚を支援するために取り組むべきこと

問 12

行政が結婚を支援するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
安定した雇用の確保	761	81.7%	82.2%	73.4%	80.7%	88.1%	88.4%	88.0%	75.0%
結婚に係る経済的支援	390	41.9%	51.5%	46.3%	42.2%	31.8%	40.7%	38.7%	30.0%
婚活イベントなど出会いの場の提供	271	29.1%	27.2%	30.7%	27.3%	27.3%	27.9%	40.0%	27.5%
行政に関わる必要はない	219	23.5%	17.8%	26.6%	28.0%	28.4%	20.9%	12.0%	20.0%
結婚相談窓口(仲立ち)	88	9.5%	10.7%	8.3%	8.1%	4.0%	11.6%	17.3%	20.0%
交際術やマナーなどを学ぶ講座	66	7.1%	8.3%	1.4%	7.5%	8.5%	9.3%	13.3%	10.0%
若い世代(中学生・高校生)への結婚に関する講習会	56	6.0%	4.7%	5.0%	6.2%	5.1%	5.8%	13.3%	7.5%
その他	49	5.3%	1.2%	4.6%	6.8%	6.3%	9.3%	6.7%	5.0%
無回答	30	3.2%	1.2%	0.9%	1.2%	2.3%	7.0%	9.3%	17.5%

「安定した雇用の確保」が81.7%と最も高く、「結婚に係る経済的支援」が41.9%で続いています。「安定した雇用の確保」が「結婚に係る経済的支援」の約2倍と、「安定した雇用の確保」の取り組みを求める割合が高くなっています。

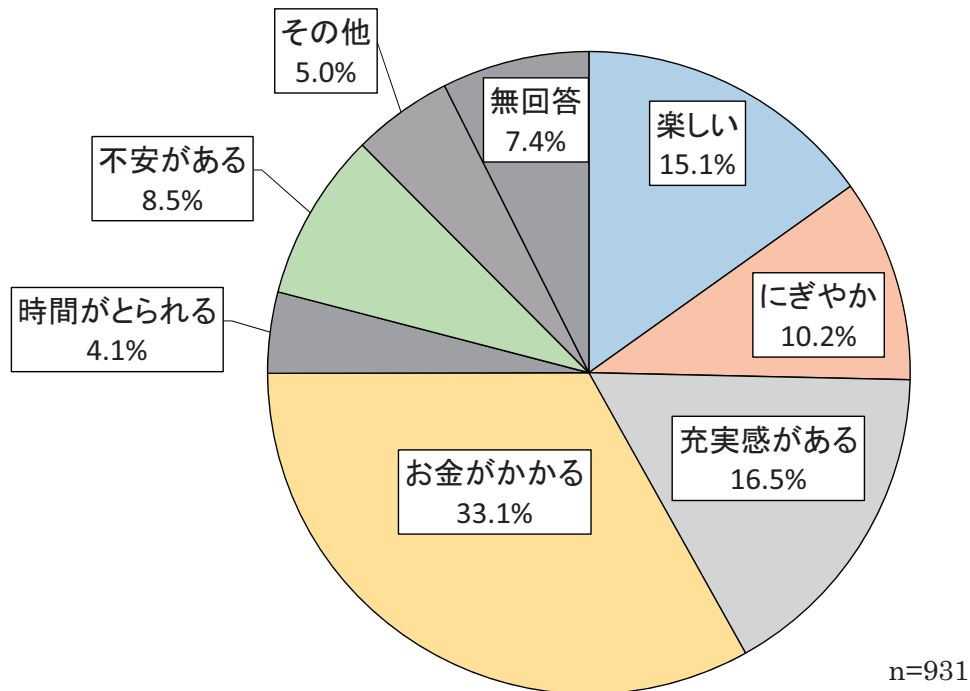
また、回答者の年代別では、全体と同様に「安定した雇用の確保」が最も高く、「結婚に係る経済的支援」も上位3項目に入っています。特に、40代以下では、「結婚に係る経済的支援」を求める割合が全体よりも高くなっています。

一方で、40～50代では、「行政に関わる必要はない」が3番目に高くなっています。

(4) 子育てに対するイメージ

問 13

子育てについてどのようなイメージを持っていますか？
あてはまる番号を、1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
楽しい	141	15.1%	14.8%	16.1%	18.6%	10.8%	7.0%	24.0%	20.0%
にぎやか	95	10.2%	10.1%	13.3%	7.5%	9.7%	10.5%	10.7%	7.5%
充実感がある	154	16.5%	13.0%	9.2%	16.1%	21.6%	24.4%	17.3%	30.0%
お金がかかる	308	33.1%	34.3%	37.6%	37.9%	33.0%	27.9%	24.0%	12.5%
時間がとられる	38	4.1%	9.5%	5.0%	3.1%	1.7%	2.3%	1.3%	0.0%
不安がある	79	8.5%	13.0%	10.1%	6.8%	6.8%	8.1%	4.0%	2.5%
その他	47	5.0%	5.3%	3.2%	4.3%	7.4%	7.0%	2.7%	7.5%
無回答	69	7.4%	0.0%	5.5%	5.6%	9.1%	12.8%	16.0%	20.0%

「お金がかかる」が 33.1%と最も高く、「充実感がある」が 16.5%で続いています。「楽しい」15.1%、「にぎやか」10.2%を含めると、41.8%の人が肯定的なイメージを持ち、「不安がある」8.5%、「時間がとられる」4.1%を含めると、45.7%の人が否定的なイメージを持っています。

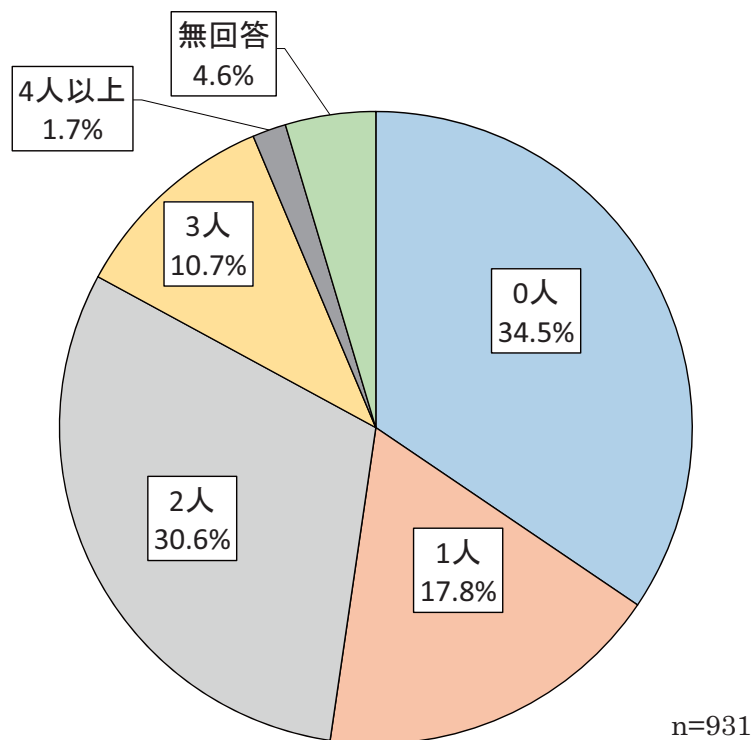
また、回答者の年代別では、全体と同様に、「お金がかかる」が高く、特に 20 代から 40 代で全体よりも高くなっている一方、50 代以上では、「充実感がある」が全体よりも高くなっています。

(5) 現在の子どもの数、理想的な子どもの数

問 14

あなたにとって、現在の子どもの数、理想的な子どもの数は何人ですか？
あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

①現在の子どもの数

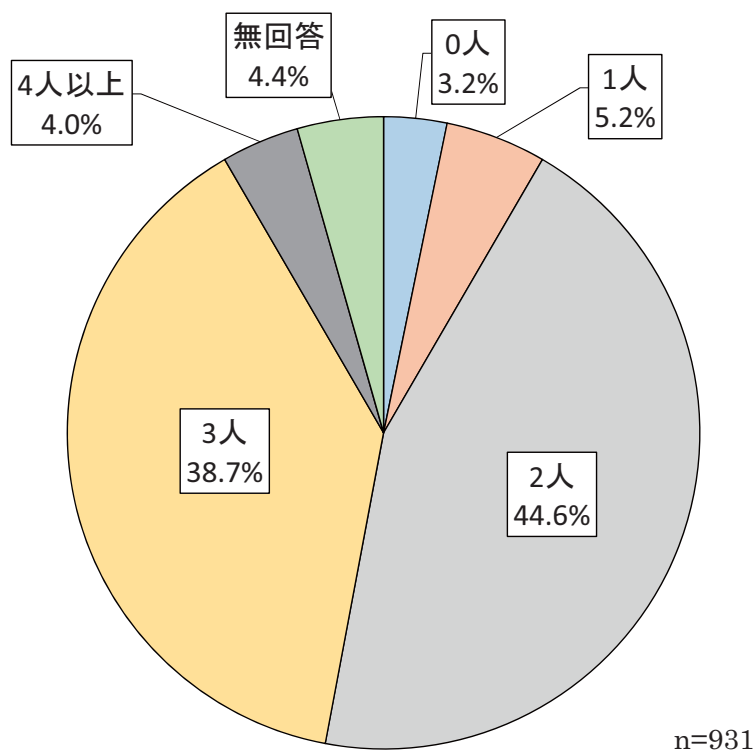


選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
0人	321	34.5%	73.4%	42.2%	32.9%	17.0%	8.1%	14.7%	5.0%
1人	166	17.8%	16.0%	22.9%	18.6%	15.9%	12.8%	13.3%	22.5%
2人	285	30.6%	4.1%	23.4%	36.0%	44.9%	48.8%	48.0%	25.0%
3人	100	10.7%	1.2%	8.7%	6.8%	17.0%	22.1%	13.3%	22.5%
4人以上	16	1.7%	0.0%	1.4%	1.9%	2.3%	4.7%	0.0%	5.0%
無回答	43	4.6%	5.3%	1.4%	3.7%	2.8%	3.5%	10.7%	20.0%

「0人」が34.5%と最も高く、「2人」が30.6%、「1人」が17.8%で続いています。

また、回答者の年代別では「0人」の割合が20代および30代で全体よりも高く、特に20代では73.4%となっています。40代以上では「2人」の割合が最も高く、50代以上では「3人」の割合が上位3項目に入っており、年代が上がるにつれ、子どもの数が増加しています。

②理想的な子どもの数



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
0人	30	3.2%	4.7%	4.1%	3.7%	1.1%	3.5%	1.3%	0.0%
1人	48	5.2%	8.9%	4.1%	7.5%	1.7%	5.8%	5.3%	0.0%
2人	415	44.6%	57.4%	50.9%	48.4%	41.5%	26.7%	33.3%	15.0%
3人	360	38.7%	26.6%	37.2%	31.7%	44.9%	48.8%	49.3%	57.5%
4人以上	37	4.0%	1.2%	2.8%	4.3%	6.8%	8.1%	0.0%	7.5%
無回答	41	4.4%	1.2%	0.9%	4.3%	4.0%	7.0%	10.7%	20.0%

「2人」が44.6%と最も高く、「3人」が38.7%で続いており、「2人」及び「3人」で83.3%となっています。

また、回答者の年代別でも「2人」、「3人」の割合が高く、40代以下では「2人」が、50代以上では「3人」が最も多くなっています。40代以下では、「1人」が、50、60代では4人以上が上位3項目に入っており、年代が上がるにつれ、理想的な子どもの数が増加しています。

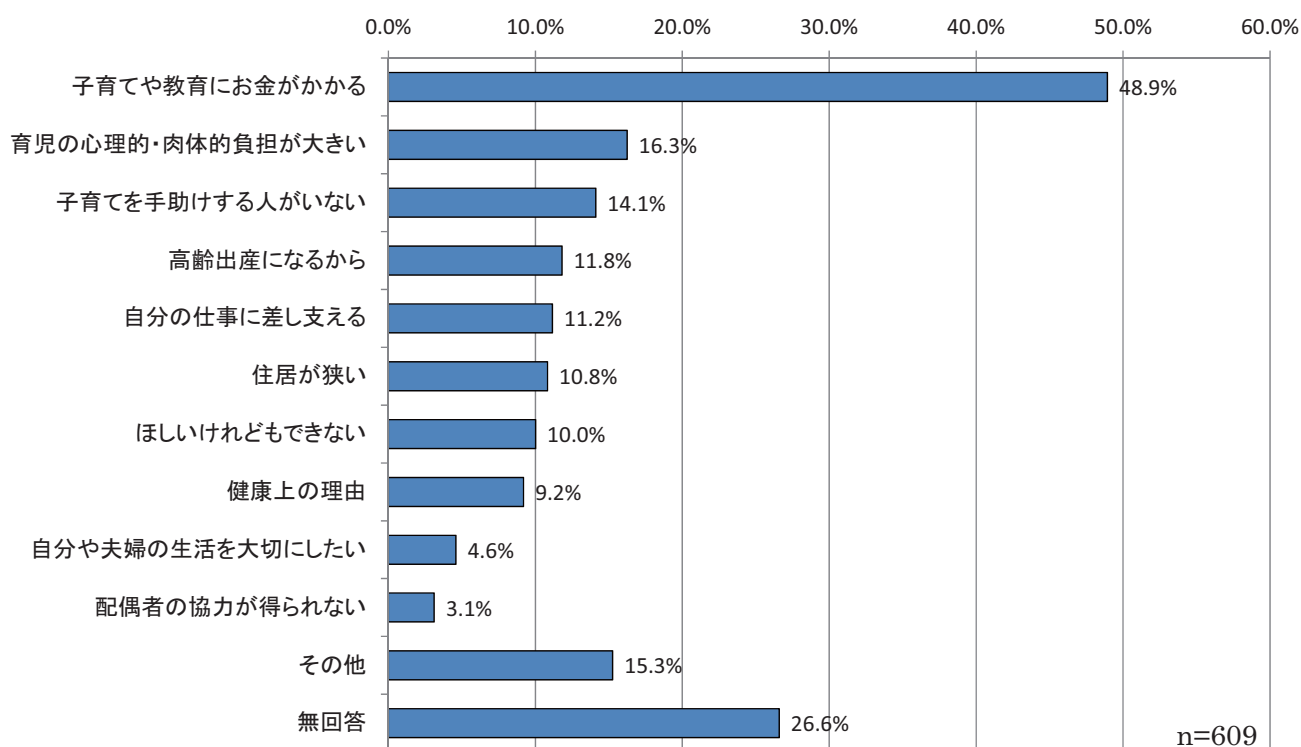
(6)「理想的な子どもの数」が「現在の子どもの数」より多い理由、または「理想的な子どもの数」が0人である理由

問 15

「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い理由または「理想的な子どもの数」が0人である理由は何ですか？

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

(回答対象者：問 14 で、「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い人または「理想的な子どもの数」が0人の人)



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
子育てや教育にお金がかかる	298	48.9%	37.8%	54.5%	53.3%	49.5%	65.8%	47.1%	35.3%
育児の心理的・肉体的負担が大きい	99	16.3%	9.5%	19.4%	17.1%	19.2%	15.8%	14.7%	29.4%
子育てを手助けする人がいない	86	14.1%	9.5%	17.0%	13.3%	13.1%	23.7%	17.6%	11.8%
高齢出産になるから	72	11.8%	0.7%	11.5%	32.4%	12.1%	10.5%	5.9%	0.0%
自分の仕事に差し支える	68	11.2%	6.8%	20.0%	7.6%	11.1%	10.5%	2.9%	5.9%
住居が狭い	66	10.8%	12.2%	9.7%	7.6%	11.1%	26.3%	5.9%	5.9%
ほしいけれどもできない	61	10.0%	4.1%	13.9%	12.4%	11.1%	7.9%	5.9%	17.6%
健康上の理由	56	9.2%	2.0%	7.9%	12.4%	9.1%	13.2%	23.5%	29.4%
自分や夫婦の生活を大切にしたい	28	4.6%	7.4%	3.6%	3.8%	4.0%	2.6%	5.9%	0.0%
配偶者の協力が得られない	19	3.1%	0.7%	3.0%	1.0%	3.0%	13.2%	8.8%	5.9%
その他	93	15.3%	19.6%	18.8%	11.4%	12.1%	7.9%	5.9%	11.8%
無回答	162	26.6%	41.2%	18.2%	21.0%	25.3%	21.1%	38.2%	11.8%

「子育てや教育にお金がかかる」が 48.9%と最も高く、「育児の心理的・肉体的負担が大きい」が 16.3%で続いており、子育てや教育への経済的な負担の大きさを理由にあげる割合が高くなっています。また、回答者の年代別でも「子育てや教育にお金がかかる」の割合が高くなっています。

「その他」の意見として「未婚のため (37 件)」、「経済的な問題 (7 件)」、「今後出産予定 (6 件)」、「現状に満足しているから (2 件)」等が挙げられています。

6 自由意見のまとめ

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を、平成 19 年に策定した「新函館市総合計画」の施策体系別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、合計 409 人（回答者全体の 43.9%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

部	章	節	件数	割合
心豊かな人と文化をはくぐむまち	創造性とふれあいをはくぐむ社会の形成	生涯学習の推進	3	0.7%
		文化芸術の振興	32	7.8%
		スポーツ・レクリエーションの振興	23	5.6%
		青少年の健全育成	7	1.7%
		男女共同参画の推進	5	1.2%
		国際化の推進	5	1.2%
		都市間交流の推進	2	0.5%
	次代を担う人材の育成と知の集積	幼児教育の充実	6	1.5%
		義務教育の充実	12	2.9%
		高校教育の充実	7	1.7%
		特別支援教育の充実	0	0.0%
		高等教育の充実	21	5.1%
		学術研究機能の充実	2	0.5%
共に支えあい健やかに暮らせるまち	地域福祉社会の形成	地域福祉の推進	13	3.2%
		児童福祉の推進	60	14.7%
		高齢者福祉の推進	16	3.9%
		障がい者福祉の推進	4	1.0%
		低所得者援護対策の充実	8	2.0%
		健康づくりの推進	2	0.5%
	健康を守る社会の形成	医療環境の充実	32	7.8%
		生活衛生対策の推進	1	0.2%
快適で安らぎのある住み良いまち	快適な生活環境の整備	市街地の整備	12	2.9%
		住環境の整備	56	13.7%
		生活道路の整備	25	6.1%
		公共交通の充実	30	7.3%
		水道水の安定供給	1	0.2%
		エネルギーの安定供給	2	0.5%
		地域情報化の推進	25	6.1%
	安全・安心な市民生活の確保	防災対策の充実	1	0.2%
		消防・救急体制の充実	0	0.0%
		交通安全対策の推進	6	1.5%
		防犯対策の推進	1	0.2%
		消費生活の向上	1	0.2%
環境と共生する美しいまち	地球にやさしいまちづくりの推進	環境保全対策の推進	2	0.5%
		廃棄物対策の推進	1	0.2%
		污水対策の充実	1	0.2%
	うるおいのある都市空間の形成	魅力ある景観の形成	19	4.6%
		水と緑の空間整備	5	1.2%
活力にあふれたにぎわいのあるまち	地域を支える産業の振興	観光・コンベンションの振興	39	9.5%
		農林業の振興	2	0.5%
		水産業の振興	4	1.0%
		工業の振興	0	0.0%
		商業の振興	72	17.6%
		新産業の創出と企業立地の促進	34	8.3%
		雇用環境の向上	175	42.8%
	総合交通体系の確立	鉄道輸送の充実	1	0.2%
		幹線道路の整備	1	0.2%
		港湾機能の充実	3	0.7%
		空港機能の充実	4	1.0%
その他	その他	その他	70	17.1%
合計			854	

自由記述回答の主な内容は、次のとおりです。

① 創造性とふれあいをはぐくむ社会の形成

「子どもやお年寄りに対するケアを充実させてほしい」という意見が多く、その中で、「社会とのコミュニケーションを図ることができる場やイベントの開催」を望む声が多く挙がりました。また、函館アリーナに対する期待が高く、「多くのライブやイベントが今後増えていくことに期待している」といった声も多く挙がりました。

一方で、「高齢者に対するサービスは充実しているが、子どもに対するサービスは不十分である」との意見や、「若い人が遊べるような施設や場所が少なく、若い人が函館市以外の都市へ足を運ばなくてはならないために生活がしづらい」との意見も多く挙げられています。

② 次代を担う人材の育成と知の集積

「家庭の事情や経済的理由により、子どもを育てるために必要な教育費等の援助があれば助かる」といった意見が多く挙げられています。

また、「市内には専門学校や大学が少なく、専門的な分野の教育を受けることが困難であり、進学をあきらめたり、市外・道外へ離れていかなければ進学も就職もできないため、そのまま市外・道外にとどまり、函館市に戻ってくる人が減少している」との意見も多く挙げられています。

③ 地域福祉社会の形成

「子育て支援や障害者支援が充実するようなまちづくり、観光客ばかりではなく市民が生活していくために函館市民でよかったと思えるような生活を送れるようにしてほしい」といった意見が多く挙げられています。

また、「地域のコミュニケーションが少なくなってきたことから、子育てや高齢者介護によって抱える不安や相談といったことを話せる相手や協力を得ることが難しくなってきた」といった意見も多く挙げられています。

④ 健康を守る社会の形成

「子どもに対する医療費の補助や無料化を行ってほしい」との意見が多く挙げられています。

また、「利用しやすい病院や交通の便の良い所に病院がない」といった意見も挙げられています。

⑤ 快適な生活環境の整備

「交通インフラの整備や駅前の活気がない」といった意見が多く挙げられています。

また、「大型商業施設の建設を望む声や、函館市がどのようなことを行っているかといった情報の発信が少なく、何をしているのか分からない」といった意見も挙げられています。

⑥ 安全・安心な市民生活の確保

「車の運転マナーが悪い、歩道に車を止めているために道が塞がれている」といった理由で、市民のモラルがなく、安心して生活することができない」といった意見が多く挙げられています。

⑦ 地球にやさしいまちづくりの推進

「原子力発電に頼らない新たなエネルギー開発により、より良い生活を過ごしていきたい」と願う意見が挙げられています。

⑧ うるおいのある都市空間の形成

「函館市の誇れるまち並みを維持し、歴史的な建造物や夜景といった観光資源を魅力あるものとしてほしい」といった意見が多く挙げられています。

一方で、「素晴らしいまち並みに対する認識が乏しく、道路にはごみが散乱し、また緑化が乏しく、整備をもっと充実してほしい」といった意見も挙げられています。

⑨ 地域を支える産業の振興

「観光のまちとして、観光客を飽きさせない新たな取り組みや既存の観光資源のPRにもっと力を入れるべきである」との意見が挙げられています。

一方で、「生活している市民がよりよく生活できる環境を整えてほしい」といった意見も多く挙げられています。

⑩ 総合交通体系の確立

「空港の整備や空港からのアクセス等の利便性を向上してほしい」との意見が多く挙げられています。

また、「港湾関係の充実を図り、多くの人の雇用や利用ができるようになってほしい」という意見も挙げられています。



平成27年度 函館市 「地方創生に関するアンケート調査」のお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、現在、函館市の人口は269,628人（平成27年3月末日現在の住民基本台帳）で、昭和55年のピーク時の345,165人に比べ75,537人の減少となっており、このままでは消費や生産活動が縮小し、地域経済が低迷するほか、まちの活力の減退、住環境の悪化などまちづくりにも様々な影響をおよぼすことが懸念されます。

そのため、函館市は現在、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力のある地域社会の形成に向けて、函館市の2060年までの人口の将来展望を提示する「人口ビジョン」および今後5か年の対策を取りまとめた「総合戦略」の策定を進めております。

つきましては、市民の皆様のご意見を伺うためアンケート調査を実施いたしますので、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から、3,000人を無作為に抽出し実施するものです。

平成27年5月

函 館 市 企 画 部

記入上の注意

- 1 お送りした**あて名のご本人**がお答えください。氏名は記入しないでください。
- 2 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理いたします。
- 3 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 4 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**平成27年6月12日(金)**までに郵便ポストに投函してください。（**切手は不要です。**）
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 〒040-8666 函館市東雲町4番13号
函館市企画部計画推進室計画調整課（新計画策定担当）
TEL：0138-21-3821 FAX：0138-23-7604
E-mail：shinkeikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

(1) あなたの性別は？ (番号1つに○)	1 男性 2 女性
(2) あなたの年齢は？ (年齢を記入)	満_____歳
(3) あなたの居住地は？ (町名を記入)	函館市_____町_____丁目
(4) あなたの函館市の居住年数は？(番号1つに○)	1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上
(5) あなたの職業は？ (番号1つに○)	1 農林業 2 水産業 3 建設業 4 サービス業 5 公務員 6 教員・研究員 7 製造業 8 情報・通信業 9 運輸業 10 金融・保険業 11 医療・福祉業 12 専業主婦(主夫) 13 パート・アルバイト・派遣 14 学 生 15 無 職 16 その他()
(6) 住宅の形態は？ (番号1つに○)	1 持家(一戸建て) 2 持家(マンション等) 3 借家(民営) 4 借家(公営) 5 社宅 6 その他()
(7) あなたの通勤・通学地は？ (番号1つに○)	1 函館市内 2 北斗市 3 七飯町 4 通勤・通学していない → (9)へ 5 その他()
(8) 通勤・通学手段は何ですか？ (番号1つに○)	1 自家用車・バイク 2 市電・バス等の公共交通 3 自転車・徒歩 4 その他()

(9) あなたの家族構成は？ (番号1つに○)	1 単身 2 夫婦のみ 3 親子 4 三世代 5 その他 ()
(10) あなたには現在養育中の子どもがいますか？ (番号1つに○) また、「いる」場合には、何人いますか？合計人数及びその内訳を<u>数字で記入</u>してください。	1 いる 合 計 _____人 小学生未満 _____人 小 学 生 _____人 中 学 生 _____人 高 校 生 _____人 大学生・短大生・専門学校生 _____人 そ の 他 _____人 2 いない
(11) あなたのお住まいの世帯年収はおおよそどれにあてはまりますか？(番号1つに○)	1 300万円未満 2 300万円以上～500万円未満 3 500万円以上～700万円未満 4 700万円以上～1,000万円未満 5 1,000万円以上
(12) 市政情報の入手方法としてよく活用するものはどれですか？ (該当する番号全てに○)	1 市政はこだて 2 市のホームページ 3 市の広報テレビ番組 4 市の広報ラジオ番組 5 新聞・ニュース番組 6 市発行のパンフレット等 7 自治会等の回覧板 8 市政情報は知らない 9 その他 ()

◆「函館のまち」についてお聞きます。

問2 函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
それぞれの項目ごとに、右のあてはまる番号から1つ選んで○をつけてください。

項 目	満足	まあ満足	もいえない	やや不満	不満
1 函館の住みやすさ	5	4	3	2	1
2 日常の買い物の便利さ	5	4	3	2	1
3 市内の移動（市電・バス）の便利さ	5	4	3	2	1
4 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	5	4	3	2	1
5 歩行、自転車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
6 自動車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
7 医療や福祉の施設やサービス体制	5	4	3	2	1
8 子育て支援	5	4	3	2	1
9 子どもの教育環境	5	4	3	2	1
10 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	5	4	3	2	1
11 近所づきあい	5	4	3	2	1
12 娯楽・レジャーの充実	5	4	3	2	1
13 歴史・文化資源の保存・活用	5	4	3	2	1

問3 函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。
（自由記述、問2の項目から選んでもかまいません。）

- | | | | |
|-------------|---|--|---|
| 1 特に満足と思うこと | （ | | ） |
| 2 特に不満と思うこと | （ | | ） |

◆「函館市の魅力」についてお聞きます。

問4 函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？
主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産
- 2 函館山からの夜景
- 3 教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み
- 4 生鮮食料品のおいしさ・充実度
- 5 飲食店や菓子店の充実度
- 6 身近な温泉施設の立地
- 7 港まつりなどの地域におけるイベントの充実度
- 8 大学などの高等教育機関があること
- 9 作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地
- 10 教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動
- 11 海と山が身近にある自然環境
- 12 気候による過ごしやすさ
- 13 その他（ ）

◆「函館市の今後のまちづくり」についてお聞きます。

問5 函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 農林水産業の振興
- 2 企業誘致の推進
- 3 起業化支援の強化
- 4 安定した雇用先の確保
- 5 中小企業・個人事業主への支援強化
- 6 大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進
- 7 観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実
- 8 函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進
- 9 その他（ ）

問6 まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成
- 2 観光客の受入体制の充実
- 3 航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進
- 4 バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備
- 5 中心市街地の賑わいの創出
- 6 その他（ ）

問7 だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 医療や保健、健康づくりの充実
- 2 地震、津波などからの防災対策の充実
- 3 公共施設の耐震化の推進
- 4 施設介護、居宅介護など介護支援策の充実
- 5 高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進
- 6 その他（ ）

問8 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚に対する支援策の充実
- 2 妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実
- 3 乳幼児の保健指導や育児相談の充実
- 4 子どもが遊べる場所の整備、充実
- 5 保育所・幼稚園や放課後児童クラブ（学童保育所）の充実
- 6 教育環境や施設整備等の充実
- 7 子育てと仕事の両立しやすい環境の整備
- 8 子育て世帯への経済的支援
- 9 その他（ ）

問9 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 若い人や女性への就労支援
- 2 若い人が交流する場の提供
- 3 市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援
- 4 IJUターンの拡充
- 5 大学生や専門学校生などの地元就職の支援
- 6 地元の大学や専門学校などの魅力の向上
- 7 町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充
- 8 その他（ ）

◆「結婚・出産・子育てに対する考え方」についてお聞きます。

問10 あなたは、現在結婚していますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------|
| 1 結婚している（既婚）→問12へ | 2 独身（未婚） |
| 3 独身（結婚歴あり） | 4 その他（ ） |

《問10で、2～4選択した方にお伺いします。》

問11 結婚をしていない理由は何ですか？

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 結婚したいと思える相手がいない | 2 家族を養うほどの収入がない |
| 3 精神的に自由でいられる | 4 経済的に自由でいられる |
| 5 異性とうまくつきあえない | 6 仕事（学業）に専念したい |
| 7 結婚資金が足りない | 8 まだ若すぎる |
| 9 結婚するつもりはない | |
| 10 その他（ ） | |

問12 行政が結婚を支援するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 安定した雇用の確保 | 2 結婚に係る経済的支援 |
| 3 婚活イベントなど出会いの場の提供 | 4 交際術やマナーなどを学ぶ講座 |
| 5 結婚相談窓口（仲立ち） | |
| 6 若い世代（中学生・高校生）への結婚に関する講習会 | |
| 7 行政が関わる必要はない | |
| 8 その他（ ） | |

問13 子育てについてどのようなイメージを持っていますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1 楽しい | 2 にぎやか | 3 充実感がある |
| 4 お金がかかる | 5 時間がとられる | 6 不安がある |
| 7 その他（ ） | | |

問14 あなたにとって、現在の子どもの数、理想的な子どもの数は何人ですか？

あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

現在の子どもの数（1つ選んで○）

- | | | |
|------|--------|------|
| 1 0人 | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上 | |

理想的な子どもの数（1つ選んで○）

- | | | |
|------|--------|------|
| 1 0人 | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上 | |

《問14で、「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い方または「理想的な子どもの数」が0人の方にお伺いします。》

問15 「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い理由または「理想的な子どもの数」が0人である理由は何ですか？

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 子育てや教育にお金がかかる | 2 住居が狭い |
| 3 自分の仕事に差し支える | 4 子育てを手助けする人がいない |
| 5 自分や夫婦の生活を大切にしたい | 6 高齢出産になるから |
| 7 健康上の理由 | 8 育児の心理的・肉体的負担が大きい |
| 9 ほしいけれどもできない | 10 配偶者の協力が得られない |
| 11 その他（ | ） |

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、6月12日（金）までに郵便ポストに投函してください。